

令和 7 年度
駅館川農地整備事業
古川揚水機場他ポンプ据付工事

積 算 書

(当初)

九州農政局
駅館川農地整備事業所

九州農政局

九州農政局



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和7年度
駅館川農地整備事業
古川揚水機場他ポンプ据付工事

積 算 書
(当初)

九州農政局
駅館川農地整備事業所

九州農政局

九州農政局

[illegible]

[illegible]

[illegible]

事業名 駅館川農地整備事業					
工事名 古川揚水機場他ポンプ据付工事					
工事別工事名:古川揚水機場他ポンプ据付工事					
名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費				4,992,000	
・既設設備撤去工 古川揚水機場	1.000	式		915,000	
・ ・ 輸送費(撤去)	1.000	式		16,000	
・ ・ ・ 輸送費 (古川揚水機場～津房農村公園)	1	式	16,000	16,000	1 式当たり
S41040 輸送費 (修繕工事) 用排水ポンプ設備固定機場,1.2ton,6.5km	1.000	式	16,000	16,000	歩A・単A S単 10号
合 計				16,000	
・ ・ ポンプ設備撤去工	1.000	式		899,000	
・ ・ ・ ポンプ設備撤去労務費 (古川揚水機場)	1	式	786,000	786,000	1 式当たり
S41001 [施設機械労務単価] 用排水ポンプ設備,据 付 工,	24.000	人	31,600	758,400	歩A・単A S単 7号
S41001 [施設機械労務単価] 用排水ポンプ設備,電 工,	1.000	人	27,200	27,200	歩A・単A S単 8号
X41006 据付間接費 用排水ポンプ設備,140%,	1.000	式	1,061,760	1,061,760	歩A・単A X単 6号
合 計				1,847,360	
計 (1) (直接費対象分)				785,600	
計 (2) (間接費対象分)				1,061,760	
・ ・ ・ 電気設備撤去労務費 (古川揚水機場) ポンプ盤	1	式	99,000	99,000	1 式当たり
S02115 電気通信技術者	0.250	人	40,500	10,125	歩A・単A S単 1号
S02115 電工	2.500	人	27,200	68,000	歩A・単A S単 2号
S02115 普通作業員	1.000	人	21,000	21,000	歩A・単A S単 3号
合 計				99,125	
・ ・ ・ 計装設備撤去労務費 (古川揚水機場) 電極式水位計	1	式	14,000	14,000	1 式当たり
S02115 電気通信技術員	0.500	人	27,200	13,600	歩A・単A S単 4号
合 計				13,600	
・ ポンプ設備据付工 古川揚水機場	1.000	式		4,064,000	
・ ・ ポンプ設備据付工	1.000	式		3,346,000	
・ ・ ・ 標準用排水機据付工	1	式	3,291,000	3,291,000	1 式当たり
S41003 用排水ポンプ据付工 横軸渦巻ポンプ,1.20超～1.80以下(1.25～2.00)m ³ /min,50.26人,-,0箇所,0.00人,0.00人,電動機,0.95,給水,1.1,2台,0.84,	2.000	台	1,275,488	2,550,976	歩A・単A S単 9号
X41006 据付間接費 用排水ポンプ設備,140%,	1.000	式	2,342,066	2,342,066	歩A・単A X単 7号
X41003 据付材料費 用排水ポンプ設備,電動機駆動,横軸(渦巻),低圧受電,SGP管,,	1.000	式	688,764	688,764	歩A・単A X単 3号
X41002 補助材料費(据付) 用排水ポンプ設備,2%,	1.000	式	51,020	51,020	歩A・単A X単 1号
合 計				5,632,826	
計 (1) (直接費対象分)				3,290,760	
計 (2) (間接費対象分)				2,342,066	
・ ・ ・ 標準用排水機据付工 (直接経費)	1	式	55,000	55,000	1 式当たり
S16002 電気溶接機[ディーズ・エンジン駆動・直流アーク式・排対2次] ,最大溶接電流200A,運転1日当たり算出,機械損料+燃料,軽油,交替制補正 対象外	12.600	日	3,678	46,343	歩A・単A S単 5号
S16004 空気圧縮機[可搬式・エンジン駆動・超低・排対(～2次)] 空気圧縮機(可搬式エンジン掛),2.5m ³ /min,なし	1.300	日	5,713	7,427	歩A・単A S単 6号
X41005 雑器具損料	1.000	式	1,075	1,075	歩A・単A X単 5号

[illegible]

事業名 駅館川農地整備事業						
工事名 古川揚水機場他ポンプ据付工事						
工事別工事名:古川揚水機場他ポンプ据付工事						
コード	名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
*** S単ー 1号 ***						
S02115	電気通信技術者					
	電気通信技術者		人	40,500		歩A・単A
*** S単ー 2号 ***						
S02115	電工					
	電工		人	27,200		歩A・単A
*** S単ー 3号 ***						
S02115	普通作業員					
	普通作業員		人	21,000		歩A・単A
*** S単ー 4号 ***						
S02115	電気通信技術員					
	電気通信技術員		人	27,200		歩A・単A
*** S単ー 5号 ***						
S16002	電気溶接機[ディーゼルエンジン駆動・直流7-ク式・排対2次]					
	電気溶接機[ディーゼルエンジン駆動・直流7-ク式・排対2次] 、最大溶接電流200A、運転1日当たり算出、機械損料+燃料、軽油、交替制補正対象外		日	3,678		歩A・単A
*** S単ー 6号 ***						
S16004	空気圧縮機[可般式・エンジン駆動・〜超低・排対(〜2次)]					
	空気圧縮機[可般式・エンジン駆動・〜超低・排対(〜2次)] 空気圧縮機(可搬式エンジン掛)、2.5m3/min、なし		日	5,713		歩A・単A
*** S単ー 7号 ***						
S41001	[施設機械労務単価]					
	[施設機械労務単価] 用排水ポンプ設備、据 付 工、		人	31,600		歩A・単A
*** S単ー 8号 ***						
S41001	[施設機械労務単価]					
	[施設機械労務単価] 用排水ポンプ設備、電 工、		人	27,200		歩A・単A
*** S単ー 9号 ***						
S41003	用排水ポンプ据付工					
	用排水ポンプ据付工 横軸渦巻ポンプ、1.20超〜1.80以下(1.25〜2.00)m3/min、50.26人、-、0箇所、0.00人、0.00人、電動機、0.95、給水、1.1、2台、0.84、		台	1,275,488		歩A・単A
*** S単ー 10号 ***						
S41040	輸送費 (修繕工事)					
	輸送費 (修繕工事) 用排水ポンプ設備固定機場、1.2ton、6.5km		式	16,000		歩A・単A
*** S単ー 11号 ***						
SA0311	SP コンクリート					
	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物、人力打設、計上する、-、一般養生、-、有り、-、21-12-25(20)(高 好B) W/C60%		m3	36,320		歩A・単A
*** S単ー 12号 ***						
SA0312	SP 型枠					
	SP 型枠 一般型枠、鉄筋・無筋構造物		m ²	9,136		歩A・単A
*** X単ー 1号 ***						
X41002	補助材料費(据付)					
	補助材料費(据付) 用排水ポンプ設備、2%、		式	51,020		歩A・単A
*** X単ー 2号 ***						
X41002	補助材料費(据付)					
	補助材料費(据付) 用排水ポンプ設備、2%、		式	9,244		歩A・単A
*** X単ー 3号 ***						
X41003	据付材料費					
	据付材料費 用排水ポンプ設備、電動機駆動、横軸(渦巻)、低圧受電、SGP管、		式	688,764		歩A・単A
*** X単ー 4号 ***						
X41003	用排水機付帯設備 (低圧受電盤) 据付材料費					
	据付材料費 その他、,,,、-		式	28,656		歩A・単A
*** X単ー 5号 ***						
X41005	雑器具損料					
	雑器具損料		式	1,075		歩A・単A
*** X単ー 6号 ***						
X41006	据付間接費					
	据付間接費 用排水ポンプ設備、140%、		式	1,061,760		歩A・単A
*** X単ー 7号 ***						
X41006	据付間接費					
	据付間接費 用排水ポンプ設備、140%、		式	2,342,066		歩A・単A
*** X単ー 8号 ***						
X41006	据付間接費					

[illegible]

事業名 駅館川農地整備事業						
工事名 古川揚水機場他ポンプ据付工事						
工事別工事名:古川揚水機場他ポンプ据付工事						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	*** S単一 1号 ***					
S02115	電気通信技術者		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	電気通信技術者			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R03003 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	
R03003	電気通信技術者	1,000	人	40,500	40,500	
	合 計				40,500	算出数量 1,000 人
	単 価				40,500	
	*** S単一 2号 ***					
S02115	電工		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	電工			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01013 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	
R01013	電工	1,000	人	27,200	27,200	
	合 計				27,200	算出数量 1,000 人
	単 価				27,200	
	*** S単一 3号 ***					
S02115	普通作業員		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	普通作業員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01003 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	
R01003	普通作業員	1,000	人	21,000	21,000	
	合 計				21,000	算出数量 1,000 人
	単 価				21,000	
	*** S単一 4号 ***					
S02115	電気通信技術員		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	電気通信技術員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R03004 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	
R03004	電気通信技術員	1,000	人	27,200	27,200	
	合 計				27,200	算出数量 1,000 人
	単 価				27,200	
	*** S単一 5号 ***					
S16002	電気溶接機[ディーゼルエンジン駆動・直流7-ク式・排対2次]		日		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	電気溶接機[ディーゼルエンジン駆動・直流7-ク式・排対2次] 最大溶接電流200A,運転1日当たり算出,機械損料+燃料,軽油,交 替制補正対象外			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	
	1)機械コード《単位が日のみ》 2)機械損料算出区分	M27432 運転1日当たり算出				
	3)運転1日当たり運転時間(T) 4)運転日に対する供用日の割合(YC)	5.0 1.80				
	5)単価計上区分 6)燃料区分	機械損料+燃料 軽油				

事業名 駅館川農地整備事業						
工事名 古川揚水機場他ポンプ据付工事						
工事別工事名:古川揚水機場他ポンプ据付工事						
コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	7)燃料の計上方法	機械経費算定基準値による				
	8)燃料消費量(入力の場合)	0.0				
	9)交替制補正区分	交替制補正対象外				
M27432	電気溶接機[ディーゼルエンジン駆動・直流7-ク式・排対2次] 最大溶接電流200A	1.800	供用日	1,010	1,818	
P34029	軽油 バトロ-給油	12.000	L	155	1,860	
	合 計				3,678	算出数量 1.000 各単位
	単 価		各単位		3,678	
Y00001	単位					
	*** S単- 6号 ***					
S16004	空気圧縮機[可般式・エンジン駆動・〜超低・排対(〜2次)]		日		1.000 日	歩A 当たり算出
	空気圧縮機[可般式・エンジン駆動・〜超低・排対(〜2次)] 空気圧縮機(可搬式エンジン掛),2.5m3/min,なし			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)機械区分	空気圧縮機(可搬式エンジン掛)		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)規格	2.5m3/min		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)運転1日当たり運転時間(T)	0.0		深夜時間:0.0	週休:補正なし	
	4)運転日に対する供用日の割合(YC)	0.00				
	5)長期割引単価区分(賃料機械)	なし				
F03022	空気圧縮機[可般式・エンジン駆動・〜超低・排対(〜2次)] 吐出量2.5m3/min 吐出圧0.7MPa	1.670	日	1,750	2,923	
P34029	軽油 バトロ-給油	18.000	L	155	2,790	
	合 計				5,713	算出数量 1.000 日
	単 価		日		5,713	
	*** S単- 7号 ***					
S41001	[施設機械労務単価]		人		1.000 [各単位]	歩A 当たり算出
	[施設機械労務単価] 用排水ポンプ設備,据 付 工,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)工種区分	用排水ポンプ設備		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)労務者区分	据 付 工		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)その他の補助文			深夜時間:0.0	週休:補正なし	
R03002	据 付 工	1.000	人	31,600	31,600	
	合 計				31,600	算出数量 1.000 [各単位]
	単 価				31,600	
	*** S単- 8号 ***					
S41001	[施設機械労務単価]		人		1.000 [各単位]	歩A 当たり算出
	[施設機械労務単価] 用排水ポンプ設備,電 工,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)工種区分	用排水ポンプ設備		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)労務者区分	電 工		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)その他の補助文			深夜時間:0.0	週休:補正なし	
R01013	電 工	1.000	人	27,200	27,200	
	合 計				27,200	算出数量 1.000 [各単位]
	単 価				27,200	
	*** S単- 9号 ***					
S41003	用排水ポンプ据付工		台		1.000 台	歩A 当たり算出
	用排水ポンプ据付工 横軸渦巻ポンプ,1.20超〜1.80以下(1.25〜2.00)m3/min,50.26人,-, 0箇所,0.00人,0.00人,電動機,0.95,給水,1.1,2台,0.84,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)ポンプ形式	横軸渦巻ポンプ		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)ポンプ実吐出量範囲	1.20超〜1.80以下(1.25〜2.00)・ ・		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)据付工数(補正前)(人/台)	50.26人		深夜時間:0.0	週休:補正なし	
	4)(立軸渦巻)中間軸受装置据付の有無	-				

事業名	駅館川農地整備事業					
工事名	古川揚水機場他ポンプ据付工事					
工事別工事名:古川揚水機場他ポンプ据付工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	5)(立軸渦巻)中間軸受据付ヶ所数	0箇所				
	6)(立渦)中間軸受据付工数(人/箇所)	0.00人				
	7)その他の据付工数(補正前)(人/台)	0.00人				
	8)原動機種別	電動機				
	9)原動機種別による補正係数	0.950				
	10)給水方式	給水				
	11)給水方式による補正係数	1.100				
	12)据付数(台)	2台				
	13)据付数による補正係数	0.840				
	14)その他の補助文					
R03002	据付工	26.470	人	31,600	836,452	
R01003	普通作業員	6.620	人	21,000	139,020	
R01013	電工	11.030	人	27,200	300,016	
	合 計				1,275,488	算出数量 1.000 台
	単 価		台		1,275,488	
	*** S単ー 10号 ***					
S41040	輸送費(修繕工事)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
	輸送費(修繕工事) 用排水ポンプ設備固定機場,1.2ton,6.5km			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)工種区分	用排水ポンプ設備固定機場		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)対象要素(x)の数量	1.200ton		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)想定輸送距離(D)の数量	6.500km		深夜時間:0.0	週休:補正なし	
K79213	輸送費	1.000	式	16,000	16,000	
	合 計				16,000	算出数量 1.000 式
	単 価				16,000	
	*** S単ー 11号 ***					
SA0311	SP コンクリート		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,有り,-,21-12-25(20)(高炉B) W/C60%			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:補正なし	
	1)構造物種別	無筋・鉄筋構造物				
	2)打設工法	人力打設				
	3)コンクリートの計上	計上する				
	4)設計日打設量	-				
	5)養生工の種類	一般養生				
	6)圧送管延長距離区分	-				
	7)現場内小運搬の有無	有り				
	8)打設高さ、水平打設距離	-				
	10)規格区分	21-12-25(20)(高炉B) W/C60%				
J02017	生コンクリート(普通) 21N/mm2 18cm 25(20)mm(W/C=60%以下)		m3			材変
	単 価		m3		36,320	
	*** S単ー 12号 ***					
SA0312	SP 型枠		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 型枠 一般型枠,鉄筋・無筋構造物			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
				豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
				基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:補正なし	
	1)型枠の種類	一般型枠				
	2)構造物の種類	鉄筋・無筋構造物				
	単 価		m ²		9,136	

事業名 駅館川農地整備事業						
工事名 古川揚水機場他ポンプ据付工事						
工事別工事名:古川揚水機場他ポンプ据付工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** X単一 1号 ***					
X41002	補助材料費(据付)		式		1,000	歩A 式 当たり算出
	補助材料費(据付) 用排水ポンプ設備,2%,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)工種区分	用排水ポンプ設備		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)据付補助材料費率(Y)	2.000%		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)工種区分の名称			深夜時間:0.0	週休:補正なし	
	4)据付材料費対象金額小計(円)	2,550,976.000円				
K79391	据付補助材料費		0.020	式	2,550,976	51,020
	合 計				51,020	算出数量 1.000 式
	単 価		式		51,020	
	*** X単一 2号 ***					
X41002	補助材料費(据付)		式		1,000	歩A 式 当たり算出
	補助材料費(据付) 用排水ポンプ設備,2%,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)工種区分	用排水ポンプ設備		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)据付補助材料費率(Y)	2.000%		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)工種区分の名称			深夜時間:0.0	週休:補正なし	
	4)据付材料費対象金額小計(円)	462,200.000円				
K79391	据付補助材料費		0.020	式	462,200	9,244
	合 計				9,244	算出数量 1.000 式
	単 価		式		9,244	
	*** X単一 3号 ***					
X41003	据付材料費		式		1,000	歩A 式 当たり算出
	据付材料費 用排水ポンプ設備,電動機駆動,横軸(渦巻),低圧受電,SGP管,,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)工種区分	用排水ポンプ設備		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	2)原動機種別	電動機駆動		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	3)ポンプ形式	横軸(渦巻)		深夜時間:0.0	週休:補正なし	
	4)受電区別	低圧受電				
	5)管種区分	SGP管				
	6)原動機出力	22.000kW				
	8)据付材料費率(X)	2.000%				
	9)工種区分の名称					
	10)据付材料費対象金額小計(円)	2,550,976.000円				
K79371	据付材料費		0.270	式	2,550,976	688,764
	合 計				688,764	算出数量 1.000 式
	単 価		式		688,764	
	*** X単一 4号 ***					
X41003	用排水機付帯設備(低圧受電盤) 据付材料費		式		1,000	歩A 式 当たり算出
	据付材料費 その他,,,,,-,			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)工種区分	その他		豪雪補正:なし	亜熱帯補正:なし	
	6)原動機出力	44.000kW		基本給時間:8.0	超勤時間:0.0	
	7)形式区分	-		深夜時間:0.0	週休:補正なし	
	8)据付材料費率(X)	6.200%				
	9)工種区分の名称					
	10)据付材料費対象金額小計(円)	462,200.000円				
K79371	据付材料費		0.062	式	462,200	28,656
	合 計				28,656	算出数量 1.000 式
	単 価		式		28,656	
	*** X単一 5号 ***					
X41005	雑器具損料		式		1,000	歩A 式 当たり算出
	雑器具損料			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	

[illegible]

[illegible]



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和7年度
駅館川農地整備事業
古川揚水機場他ポンプ据付工事【平山加圧機場】

積 算 書
(当初)

九州農政局
駅館川農地整備事業所

九州農政局

九州農政局

工事別工事名:古川揚水機場他ポンプ据付工事

九州農政局

[illegible]

工事別工事名:古川揚水機場他ポンプ据付工事

九州農政局

[illegible]

[illegible]

事業名	駅館川農地整備事業					
工事名	古川揚水機場他ポンプ据付工事【平山加圧機場】					
工事別工事名:古川揚水機場他ポンプ据付工事						
コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** S単- 1号 ***					
S02115	普通作業員		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	普通作業員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01003 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:補正なし	
R01003	普通作業員	1,000	人	21,000	21,000	
	合 計				21,000	算出数量 1,000 人
	単 価				21,000	
	*** S単- 2号 ***					
S02115	電気通信技術者		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	電気通信技術者			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R03003 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:補正なし	
R03003	電気通信技術者	1,000	人	40,500	40,500	
	合 計				40,500	算出数量 1,000 人
	単 価				40,500	
	*** S単- 3号 ***					
S02115	電工		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	電工			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01013 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:補正なし	
R01013	電工	1,000	人	27,200	27,200	
	合 計				27,200	算出数量 1,000 人
	単 価				27,200	
	*** S単- 4号 ***					
S02115	電気通信技術員		人		1,000 人	歩A 当たり算出
	電気通信技術員			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R03004 基(B)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:補正なし	
R03004	電気通信技術員	1,000	人	27,200	27,200	
	合 計				27,200	算出数量 1,000 人
	単 価				27,200	
	*** S単- 5号 ***					
S02116	仮設用ユニットポンプ		月		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	仮設用ユニットポンプ ,,揚程60m、600ℓ/分、φ125mm			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード (P) 3)地区資材単価コード (J) 4)施設機械資材単価コード (K)	施設機械資材 (Kコード) K96075		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
				深夜時間:0.0	週休:補正なし	
K96075	仮設用ユニットポンプ 揚程60m、600ℓ/分、φ125mm	1,000	月	345,000	345,000	
	合 計				345,000	算出数量 1,000 各単位

コード	名 称	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	単 価				345,000	
	*** S単- 6号 ***					
S02116	輸送費		往復		1,000 各単位	歩A 当たり算出
	輸送費 仮設用ユニットポンプ			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし	
	1)資材区分 2)地域資材単価コード (P)	施設機械資材 (Kコード)		豪雪補正:なし 基本給時間:8.0	亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0	
	3)地区資材単価コード (J) 4)施設機械資材単価コード (K)	K96076		深夜時間:0.0	週休:補正なし	
K96076	輸送費 仮設用ユニットポンプ	1,000	往復	500,000	500,000	
	合 計				500,000	算出数量 1,000 各単位
	単 価				500,000	
	*** S単- 7号 ***					
S41001	[施設機械労務単価] [施設機械労務単価] 用排水ポンプ設備,据 付 工,		人		1,000 [各単位]	歩A 当たり算出
	1)工種区分 2)労務者区分 3)その他の補助文	用排水ポンプ設備 据 付 工		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	
R03002	据 付 工	1,000	人	31,600	31,600	
	合 計				31,600	算出数量 1,000 [各単位]
	単 価				31,600	
	*** S単- 8号 ***					
S41040	輸送費 (修繕工事) 輸送費 (修繕工事) 用排水ポンプ設備固定機場,5ton,12.9km		式		1,000 式	歩A 当たり算出
	1)工種区分 2)対象要素 (x) の数量 3)想定輸送距離 (D) の数量	用排水ポンプ設備固定機場 5.000ton 12.900km		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0 豪雪補正:なし 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	制約作業時間:0.0 冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 週休:補正なし	
K79213	輸送費	1,000	式	56,000	56,000	
	合 計				56,000	算出数量 1,000 式
	単 価				56,000	

コード	名 称	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
	*** X単— 1号 ***					
X41006	据付間接費 据付間接費 用排水ポンプ設備,140%, 1)工種区分 2)据付間接费率(Y) 3)工種区分の名称 4)据付工対象金額(円)		式		1.000 式	歩A 当たり算出
K79251	据付間接費	663,600.000				
		1.400	式	663,600	929,040	
	合 計				929,040	算出数量 1.000 式
	単 価		式		929,040	

[illegible]

令和 7 年度 駅館川農地整備事業

古川揚水機場他ポンプ据付工事

特 別 仕 様 書

九州農政局駅館川農地整備事業所

第1章 総 則

令和7年度 駅館川農地整備事業 古川揚水機場他ポンプ据付工事の施工に当たっては、農林水産省農村振興局制定「施設機械工事等共通仕様書」（以下、「共通仕様書（施）」という。）、「土木工事共通仕様書」（以下、「共通仕様書（土）」という。）及び九州農政局農村振興局制定「九州農政局施設機械工事共通事項書」（URL：<https://www.maff.go.jp/kyusyu/seibibu/doboku/attach/pdf/doboku-168.pdf>）に基づいて実施する。同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

第2章 工事内容

1. 目 的

本工事は、駅館川農地整備事業計画に基づき古川揚水機場のポンプ設備の撤去、更新、及び平山加圧機場のポンプ設備の撤去を行うものである。

2. 工事場所

大分県杵築市山香町久木野尾及び宇佐市安心院町佛木地内

3. 工事概要

この工事は、古川揚水機場ポンプ設備、平山加圧機場ポンプ設備及びその他付帯設備の撤去及び据付工事で、その概要は次のとおりである。

（1）古川揚水機場（更新）

1）主ポンプ設備

横軸片吸込多段渦巻ポンプ	口径125mm	2台
--------------	---------	----

2）関連機器	1式
--------	----

3）付帯土木工	1式
---------	----

（2）古川揚水機場（撤去）

1）主ポンプ設備

横軸片吸込単段渦巻ポンプ	口径125mm	2台
--------------	---------	----

2）吸吐出管類	1式
---------	----

3）弁 類	1式
-------	----

4）原 動 機	1式
---------	----

5）操 作 設 備	1式
-----------	----

6）計 装 設 備	1式
-----------	----

（3）平山加圧機場（撤去）

1）主ポンプ設備

横軸片吸込多段渦巻ポンプ	口径75mm	1台
--------------	--------	----

2）吸吐出管類	1式
---------	----

3）弁 類	1式
-------	----

4）原 動 機	1式
---------	----

5）受 電 設 備	1式
-----------	----

6）操 作 設 備	1式
-----------	----

7）計 装 設 備	1式
-----------	----

4. 工事数量

別紙ー1「工事数量表」のとおりである。

5. 施工範囲

(1) 本工事の施工範囲は、第2章3 工事概要に示す既設設備の撤去、設計図書に示す、輸送、据付及び総合試運転調整までの一切とする。

(2) 次に示すものは本工事の範囲外とする。

1) 資機材の現場搬入道路の設置及び補修工事

第3章 施工条件

1. 工程制限

古川揚水機場の撤去及び据付工事は、施設管理者と調整が必要となるので別途指示する。

平山加圧機場の撤去工事は、施設管理者と調整が必要となるので別途指示する。

また、ポンプ設備及び電気設備の工事は、営農（通水）のため別途指示する日までに工事（総合試運転調整）を完成させなければならない。

2. 部分使用

本工事は、工事引き渡し前に工事請負契約書第34条により、次について部分使用する。

(1) 部分使用範囲： ポンプ設備、受電設備、操作設備、計装設備

(2) 目的： かんがい

(3) 部分使用期間： 部分使用期間については、監督職員と協議するものとする。

3. 工事期間中の休業日

工事期間中の休業日は次のとおりとする。

現場据付の工事期間には雨天、休日等45日を見込んでいる。（なお、休日等は土曜日、日曜日、祝日、年末年始休暇である。）

4. 工事を施工しない日

原則、土曜日及び日曜日。

なお、冬期間の気象条件等により上記の工事を施工しない日においてやむをえず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

5. 工事を施工しない時間帯

原則、平日の午後6時から午前8時まで。

なお、気象条件等により上記の工事を施工しない時間帯においてやむをえず施工が必要となった場合は、監督職員と協議するものとする。

6. 現場技術員

本工事は、共通仕様書（施）第1章 1-1-13 に規定している現場技術員を配置する予定としている。
氏名等については、別に通知する。

第4章 現場条件

1. 関連工事等

受注者は、次に示す隣接工事、又は関連工事の受注者と相互に協力し、施工しなければならない。
令和7年度駅館川農地整備事業 平山加圧機場建築工事（仮称）
（予定工期 令和8年9月～令和9年3月 予定）

2. 既設設備等との受渡し条件

本工事で既設設備等に接続する内容は次のとおりである。

本ポンプの電気設備は、電気事業者210V（三相3線、60Hz）、210V／105V（単相3線、60Hz）、で受電するものとする。

なお、電気事業者との責任分界点は、引込第1柱に設置する開閉器の一次側接続点とする。

3. 搬入路

現場への搬入路は、4t車の進入が可能である。

4. 第三者に対する措置

（1）保安対策

本工事における交通誘導員は計上していないが、現地の交通状況等により必要な場合は、監督職員と協議するものとする。

（2）その他

既設構造物及び第三者に損害を与えた場合は、受注者の責任で処理するものとする。

5. 関係機関との調整

受注者は、下記申請書等の作成並びに調整を行うものとする。

（1）電力使用申込等に必要な資料の作成及び調整等を行うものとする。

（2）その他必要なもの。

（3）ポンプ設備の撤去・据付時に伴う、断水実施日及び期間については、施設管理者である安心院土地改良区と協議のうえ決定するものとするが、事前に確認すること。

第5章 提出図書等

1. 施工図

受注者は、施工図が第三者の有する著作権を侵害し、発注者が著作権法に従い第三者に損害の回復等の処置を講じなければならないときは、発注者にかわり、その損害を負担し、又は回復等の処置を講ずるものとする。

第6章 仮 設

1. 工事用電力

据付工事に使用する電力設備及び電気料金は受注者の負担とする。

2. 発生材仮置場

本工事により撤去した機器等の持ち込み場所については、別添図面に示す箇所とし、その名称については次のとおりである。

名 称	地 先 名	摘 要
津房農村公園	宇佐市安心院町六郎丸地内	ポンプ設備等

3. 仮設ポンプ

平山加圧機場においては、ポンプ撤去、建屋解体、建屋建築の期間は仮設用ユニットポンプを設置し、断水が生じないように施工しなければならない。

第7章 工事用地等

1. 発注者が確保している用地

発注者が確保している工事用地及び工事施工上必要な用地（以下、「工事用地等」という。）は、古川揚水機場及び平山加圧機場の敷地内とする。

2. 工事用地等の使用

工事用地等以外の用地が、受注者の都合により必要となった場合は、一切を受注者の責任により処理するものとするが、借地する場合及び返還する場合は発注者に報告するものとする。

第8章 貸与する資料等

本工事の設計・施工において、関連する次の資料は貸与する。

- (1) 資 料 名 令和元年度 駅館川農地整備事業 古川ファームポンド他実施設計業務報告書
平成30年度 駅館川農地整備事業 平山加圧機場実施設計業務報告書
令和5年度 駅館川農地防災事業 古川揚水機場ポンプ製作据付他工事完成図書
- (2) 貸与期間 工事契約から工事完成まで
- (3) 返納場所 九州農政局 駅館川農地整備事業所
- (4) 貸与条件 貸与資料の内容については、発注者の許可なく他に公表してはならない。

第9章 試運転調整

本工事で実施する電気設備を含めた試運転調整に要する電力料金（基本料金・使用料金）は受注者において負担する。

なお、試運転調整実施に当たっては、事前に詳細な実施計画書を作成し、監督職員に提出して承諾を得るものとする。

第10章 支給材料（製作品）

支給する材料は、次のとおりである。

（1）支給材料（製作品）

品 名	規 格	単位	数量	備 考
主ポンプ設備	横軸片吸込多段渦巻ポンプ 口径125mm	台	2	古川揚水機場用
吸吐出管類		式	1	
弁類		式	1	
原動機		式	1	
操作設備		式	1	
計装設備		式	1	
予備品・付属品		式	1	

※支給材料（製作品）の詳細は、第8章にて貸与する完成図書のとおりである。

（2）引渡し場所

大分県杵築市山香町久木野尾（古川揚水機場内）

（3）引渡し時期

監督職員と打合せの上、決定するものとする。

（4）引渡し方法

引渡し及び引渡し場所から工事現場までの運搬は、受注者の責任において行うものとする。

第11章 運転操作・制御方式

1. 運転管理

機側（ポンプ場）における運転管理の内容は別紙－2－1「管理項目表」のとおりとする。

信号等情報の受け渡し方法は、次による。

（1）アナログ計測信号 （水位計） DC4～20mA

（2）制 御 信 号 （電極水位信号）AC8V、AC1mA 以下

2. 運転操作

ポンプ設備の運転操作内容は、別紙－3－1「運転操作要領」のとおりとする。

第12章 電気通信設備

1. 一般事項

（1）高圧受変電設備、高低圧動力設備に関する一般仕様は、「電気設備標準機器仕様書」（令和元年7月 農林水産省農村振興局）に準ずるものとする。

各設備、機器、器具毎の仕様、適用規格等（JIS、JEC、JEM等）は、共通仕様書（施）及び関係諸基準に準ずるものとする。

（2）使用する機器、器具等は日本国内で調達可能なものとする。

- (3) 外部から引込み又は引出す電源線・信号線等の接続部には、SPD装置等を設置し雷害対策を行うものとする。

2. 設備概要

本ポンプ場の電気設備は、電気事業者210V（三相3線 60Hz）、210/105V（単相3線 60Hz）で受電した電力を各負荷設備に供給又は配電する設備である。

なお、電気事業者との責任分界点は引込第1柱に設置する開閉器の一次側接続点とする。

3. 操作設備

本揚水機場の操作設備としては、機場内のポンプ室内にポンプ制御盤を設置するものとする。

4. 計装機器

水位計を吸水槽及び吐水槽に設置し、電磁流量計を吐水管に設置する。

第13章 塗 装

1. 一般事項

- (1) 外注品の塗装仕様についてはメーカー標準仕様とする。

なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議するものとする。

- (2) 塗装は各部の塗装仕様により施工するものとし、搬入据付等により塗膜の損傷が生じた場合は正規の塗装と同等以上の補修を行い仕上げるものとする。

2. 施工方法

- (1) 塗装作業は、鋼材表面の素地調整を十分に行った後に実施し、一次プライマー及び各層の塗り重ねは塗装系に応じた塗装間隔を守り、各層毎に色分けを行い施工するものとする。
- (2) 現場溶接部及び工場での塗り残し部の塗装、現場補修等を行い、塗装を仕上げるものとする。

3. 塗装仕様

- (1) 場内小配管

施工場所	工程	塗料等	標準膜厚
工場	素地調整	4種ケレン	
	一次プライマー	長ばく形エッチングプライマー	15
	第一層目（下塗）	鉛・クロムフリー錆止ペイント	35
現場	第二層目（上塗）	長油性フタル酸樹脂塗料中塗	25

第14章 撤去・据付

受注者は設計変更が生じ、契約変更に必要な測量・設計図書の作成を監督職員から指示された場合は、それに応ずるものとする。

なお、その経費については別途協議するものとする。

1. 一般事項

据付は、共通仕様書（施）第3章第7節から第13節及び第6章第12節によるものとし、特記及び追加事項は次によるものとする。

2. 据付基準点

本工事の据付基準点は、図面に示す【古川揚水機場】BM. 35 (H=230. 173m) 及び【平山加圧機場】BM. 24 (H=311. 408m) を使用するものとする。

なお、基準点等の位置データは、測地成果2000に対応したものである。

3. 既設設備の撤去にあたっては、既設構造物に損傷を与えないように留意するものとする。

4. 機械設備

- (1) ポンプ設備の据付は、あらかじめ既設構造物の位置、寸法、高さ等を計測し、据付基準線を定め所定の位置に水平、垂直の芯出しを行いアンカーボルト等により確実に取付けるものとする。
- (2) 設備の据付に重機械を使用する場合は、既設構造物に損傷を与えないように留意するものとする。
- (3) 小配管は保守点検が容易に行えるよう配慮するものとし、必要に応じてフランジ接合を考慮するものとする。
- (4) 現場据付にあたり、施工後検査困難となる箇所は、予め監督職員の確認を受けた後、施工しなければならない。
- (5) ポンプ設備、補機設備、付帯設備を含めたすべての設備に使用するアンカーボルトについて、耐震計算書を作成し、監督職員の承諾を得るものとする。

5. 天井クレーン設備

撤去及び据付には、以下の天井クレーン設備の使用が可能である。

なお、使用の際には発注者に使用届けを提出するものとする。

古川揚水機場 天井クレーン（既設）：定格荷重1. 0 t

平山加圧機場 設備なし

6. 電気設備

- (1) 電気設備の配置は、操作及び保守点検が容易な配置となるよう配慮するものとする。
- (2) 機器等の据付は、地震時における水平移動・転倒等の事故を防止するため、法令・基準等に準拠した耐震計算を行い、監督職員の承諾を受け施工するものとする。

なお、耐震クラスは「電気設備計画設計技術指針（高低圧編）」に示すAクラス以上とする。
- (3) 電線等は、負荷等に対して適切な電気特性を有するものを使用し、ねじれ等が生じないように、または、強い張力などを与えないように慎重に入線及び配線を行う。

また、端末には適当な大きさの端末処理材及び接続端子等を設け、色分け線、名札等により判別可能な状態で配線するものとする。
- (4) 電線等を地中埋設する場合は、その位置が明確になるようにしなければならない。

(5) 電気設備を固定するアンカーボルトに、あと施工アンカーを使用する場合は、おねじ形の金属拡張アンカー又は接着系アンカーを使用するものとする。

なお、めねじ形の金属拡張アンカーは使用しないものとする。

7. 据付材料

本工事で据付時に使用する主要材料は、共通仕様書（施）第2章によるものとし、特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

(1) 規格及び品質

本工事で据付時に使用する主要材料の規格及び品質は下記によるものとする。

1) コンクリート

コンクリートはレディーミクストコンクリートとし、種類は次のとおりとする。

種類	呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (c m)	粗骨材の最大寸法 (mm)	水セメント比 W/C(%)	セメントの種類による 記号	使用目的
鉄筋コンクリート	21	18	20	65 以下	普通	機場壁貫通部コンクリート
鉄筋コンクリート	21	12	20	65 以下	B B	圧力タンク基礎 水槽壁貫通部コンクリート
無筋コンクリート	18	8	40	65 以下	B B	シタダーコンクリート

※粗骨材最大寸法 25 mmは、地域的に骨材の入手が困難な場合 20 mmの使用を可能とする。

(2) 見本又は資料の提出

下記に示す据付材料は、使用前に下記の資料を監督職員に提出し承諾を得た後に使用するものとする。

据 付 材 料 名	提 出 資 料
コンクリート	配合計画書・試験成績書
小配管類	カタログ、試験成績書等
電線及び電線管等	カタログ等
アンカーボルト	カタログ、試験成績書

8. 特定建設資材の分別解体等

本工事における特定建設資材の工程ごとの作業内容及び分別解体等の方法は、次のとおりである。

工程ごとの作業内容及び解 本方法	工 程	作 業 内 容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用

	④本体構造	本体構造の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 □有 ■無	□手作業 □手作業・機械作業の併用
	⑥その他 (ポンプ設備、電気設備 撤去)	その他の工事 ■有 □無	□手作業 ■手作業・機械作業の併用

第 15 章 試験及び検査

1. 検測又は確認（施工段階確認）

（1）本工事の施工段階は、下表に示すとおりである。

ただし、確認時期・頻度については、監督職員の指示により変更する場合がある。

1) 施設機械工事

工 種	確認内容		確認時期	遠隔確認対象	備考
1. 共通 (1) ポンプベース	出来形管理	1. 寸法 (1) 中心のずれ (2) 高さの精度 (3) 水平度	据付時	—	
(2) 主ポンプ羽根車		1. 寸法 (1) ケーシングとのクリアランス		—	
(3) カップリング 芯だし（ポンプー 原動機）		1. 寸法 (1) 芯ずれ (2) 面振れ		—	
1. 総合試運転管理	品質管理	1. 起動試験 2. 始動停止条件 3. 保護装置	据付時	—	

2) 電気設備工事

工 種	確認内容		確認時期	遠隔確認対象	備考
1. 配電盤類 (1) 高圧閉鎖配電盤 (2) 低圧閉鎖配電盤 (3) 継電器盤 (4) 操作盤	出来形管理	1. 据付外観 (1) 据付状態	据付時	—	

1. 配電盤類 (1) 高圧閉鎖配電盤 (2) 低圧閉鎖配電盤 (3) 継電器盤 (4) 操作盤	品質管理	1. 機構動作試験 2. シーケンス試験	据付時	—	
2. 試験		1. 絶縁抵抗試験 2. 絶縁耐力試験 3. 接地抵抗測定 4. 総合試運転		—	

- (2) (1) の 1) の表に示す以外の工種は、自主検査記録を確認する場合があるので、監督職員が求めた場合、これに応じなければならない。
- (3) 低入札価格調査制度における調査対象工事の場合における重点的に確認すべき事項については、工事契約後において受発注者間で協議するものとする。

第16章 施工管理等

1. 主任技術者等の資格

主任技術者等の資格は入札説明書による。

2. 施工管理

施工管理は、農林水産省農村振興局制定「施設機械工事等施工管理基準」及び共通仕様書（施）による。

なお、これらに定められていない事項については、受注者の基準によるが、この場合はあらかじめ監督職員の承諾を得るものとする。

3. 通水試験等

受注者は、部分使用開始前に発注者が行う通水試験に立ち会うものとする。

なお、通水試験において受注者の責任に起因する異常が認められた場合は、受注者の責任において処理するものとする。

4. 工事写真における黒板情報の電子化について

黒板情報の電子化は、被写体画像の撮影と同時に工事写真における黒板の記載情報の電子的記入を行うことにより、現場撮影の省力化、写真整理の効率化を図るものである。

受注者は、工事契約後に監督職員の承諾を得たうえで黒板情報の電子化を行うことができる。黒板情報の電子化を行う場合、受注者は、以下の（１）から（４）によりこれを実施するものとする。

（１）使用する機器・ソフトウェア

受注者は、黒板情報の電子化に必要な機器・ソフトウェア等（以下、「機器等」という。）は、「土木工事施工管理基準 別表第２ 撮影記録による出来形管理」に示す項目の電子的記入ができるもので、かつ「電子政府における調達のために参照すべき暗号のリスト(CRYPTREC 暗号リスト)」

(URL「<https://www.cryptrec.go.jp/list.html>」)に記載する基準を用いた信憑性確認機能(改ざん検知機能)を有するものを使用するものとする。

(2) 機器等の導入

1) 黑板情報の電子化に必要な機器等は、受注者が準備するものとする。

2) 受注者は、黑板情報の電子化に必要な機器等を選定し、監督職員の承諾を得なければならない。

(3) 黑板情報の電子的記入に関する取扱い

1) 受注者は、(1)の機器等を用いて工事写真を撮影する場合は、被写体と黑板情報を電子画像として同時に記録してもよいこととする。

2) 本工事の工事写真の取扱いは、「土木工事施工管理基準 別表第2 撮影記録による出来形管理」及び「電子化写真データの作成要領(案)」によるものとする。

なお、上記1)に示す黑板情報の電子的記入については、「電子化写真データの作成要領(案) 6 写真編集等」に示す「写真編集」には該当しないものとする。

3) 黑板情報の電子化を適用する場合は、従来型の黑板を写し込んだ写真を撮影する必要はない。

(4) 写真の納品

受注者は、(3)に示す黑板情報の電子化を行った写真を、工事完成時に発注者へ納品するものとする。

なお、受注者は納品時に URL (https://www.cals.jacic.or.jp/CIM/sharing/index_digital.html) のチェックシステム(信憑性チェックツール)又はチェックシステム(信憑性チェックツール)を搭載した写真管理ソフトウェアを用いて、黑板情報を電子化した写真の信憑性確認を行い、その結果を監督職員へ提出するものとする。

(5) 費用

機器等の導入に要する費用は、従来型の黑板に代わるものであり、技術管理費の写真管理に要する費用に含まれる。

第17章 条件変更の補足説明

本工事の施工に当たり、自然的又は人為的な施工条件が設計図書等と異なる場合、あるいは設計図書等に示されていない場合の施工条件の変更に該当する主な事項は、次のとおりである。

(1) 設計諸元等条件変更に係るもの

(2) 関連工事との調整に係るもの

(3) 不可抗力によるもの

(4) 法・基準の改正に係るもの

(5) その他本仕様書に定めのないもの

第18章 公共事業関係調査に対する協力

受注者は、本工事が公共事業関係調査の対象となった場合、協力しなければならない。

第19章 その他

1. 電子納品

工事完成図書を、共通仕様書（施）第1章 1-1-28 及び第1章 1-1-30 に基づき資料を作成し、次のものを提出しなければならない。

- ・工事完成図書の電子媒体（CD-R、DVD-R 又は BD-R）正副2部
- ・工事完成図書の出力 1部（電子媒体の出力、市販のファイル綴じで可）

2. 工期

本工事は、受注者の円滑な工事施工体制を確保するため、事前に建設資材、建設労働者の確保などが図れる余裕期間と実工期を合わせた全体工期を設定した工事であり、発注者が示した工事完了期限までの間で、受注者は工事の始期（工事開始日）及び終期を任意に設定できる。

なお、受注者は、契約を締結するまでの間に、別紙様式1により、工事の始期及び終期を通知しなければならない。

ただし、受注者は、発注者が本工事の積算上の工期としている164日間よりも短い期間を工期として設定しようとする場合には、落札決定後、速やかに別紙様式1と併せて、休日を確保していることや適切な工程による工事であることを説明できる理由書、または工程表を提出しなければならない。

工事の始期までの余裕期間内は、主任技術者又は監理技術者を配置することを要しない。

また、現場に搬入しない資材等の手配等を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う手配等は受注者の責により行うものとする。

全体工期：契約締結日の翌日から令和9年3月10日（工事完了期限日）まで

※ 工事完了期限内における工期の変更については、受注者から変更理由が記載された書面での協議を行うこと。

3. CORINS への登録

技術者の従事期間は、契約（変更の場合は、変更契約）工期をもって登録することとし、余裕期間を含まないことに留意すること。

4. 工事付属品

本工事で製作据付した設備の維持管理及び運転操作に必要な書類等は、工事付属品として監督職員の指示する場所に備え付けなければならない。なお、この図書は第19章の提出図書に示す完成図書、施工図の提出部数に含まないものとする。

5. 施工箇所が点在する工事の適用

（1）本工事は、施工箇所が点在する工事であり、『古川揚水機場、平山加圧機場（以下、工事箇所という）』ごとに共通仮設費及び現場管理費を算出する「施工箇所が点在する工事の積算方法」による工事である。

（2）本工事における共通仮設費の金額は、工事箇所ごとに算出した共通仮設費を合計した金額とする。

また、現場管理費の金額も同様に、工事箇所ごとに算出した現場管理費を合計した金額とする。

さらに、据付間接費の金額も同様に、工事箇所ごとに算出した据付間接費を合計した金額とする。

なお、共通仮設費率及び現場管理費率の補正（施工地域による補正等）については、工事箇所ごとに設定する。一般管理費等及び設計技術費については、工事箇所ごとではなく、通常の積算方法

により算出する。

第20章 定めなき事項

1. 契約書、設計図面及び本仕様書に示されていない事項であっても構造、機能上又は製作据付上当然必要と認められる軽微な事項については受注者の負担で処理するものとする。
2. この仕様書に定めない事項又は、この工事の施工にあたり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。

工 期 通 知 書

令和 年 月 日

分任支出負担行為担当官
秋島 恵三 様

住所
商号又は名称
氏名

次のとおり工期を定めたので通知します。

工 事 名	令和7年度駅館川農地整備事業 古川揚水機場他ポンプ据付工事
工 事 場 所	大分県杵築市山香町久木野尾及び宇佐市安心院町佛木地内
契約予定年月日	令和 年 月 日
工 事 の 始 期	令和 年 月 日
工 期	工 事 の 始 期 から (日間) 令和 年 月 日 まで

※契約の締結までに提出すること。

※契約書には本通知書により通知した工期(工事の始期及び終期)を記載する。

○ : 機側

[illegible]

[illegible]

運転操作要領（古川揚水機場）

１．運転操作の概要

（１）本ポンプ設備の運転操作

本ポンプ設備の運転操作は、揚水機場内から一人制御の単独操作及び連動操作と自動操作が行えるものとする。

送水ポンプの運転制御は、吐水槽（古川吐水槽）水位によるＯＮ・ＯＦＦ制御を行うものとする。

（２）運転操作の優先順位

運転操作の優先順位は、自動、連動、単独 操作の順とする。

２．運転操作の内容

（１）自動運転 操作

吸水槽（古川ファームポンド）と吐水槽（古川吐水槽）に設置する水位計及び電極からの信号を受けて、始動及び停止動作や台数制御が自動的に行われる運転方式である。

（２）連動操作

連動操作は、主ポンプと真空ポンプの運転に必要な補助機械の操作を１回の操作で各機器の操作段階が連動に行われる運転方式である。

（３）単独操作

単独操作は、主ポンプと真空ポンプの運転に必要な補助機械の操作をポンプの操作と連動しないで、それぞれ単独に操作しながら各機器の動作を運転員が確認しながら運転する方式である。

（４）操作場所による運転方式

古川揚水機場は、機側による運転操作・制御方式とする。故障時や緊急時等は、単独切換で手動操作が可能である。

（５）操作方法

古川揚水機場における主ポンプは、下記の手順で自動操作を行う。

１）ポンプ盤の「手動－自動」の切換スイッチで「自動」を選択する。

２）常時の操作方法

通常時のポンプ運転は、吐水槽の設定水位による自動交互並列運転を行う。即ち、主ポンプと補機（電動吐出弁・真空ポンプ）の始動及び停止操作は、自動運転方式となる。

主ポンプ自動操作（オン・オフ制御）方式については、起動停止を繰り返すごとに運転順序号機を切り換えて、吐水槽の設定水位（１～２台目運転水位）で自動的に運転台数の制御を行う。ただし、吸水槽水位が「空転防止」以上で起動し、一度停止すると「運転可能水位」が起動条件になる。

３）異常時の操作方法

古川揚水機場 ポンプ盤にて 故障表示ランプが点灯する。

原則として、上記のような異常発生時は、直ちに運転管理の責任者や担当者が現場に向かい、原因を調査し、適切な処置をする。

(6) 設定水位

1) 古川揚水機場 吸水槽(古川ファームポンド)の設定水位

古川揚水機場 のポンプ運転方式は、吐水槽の設定水位によるポンプ台数制御であるが、吸水槽の空転防止水位 以下では、ポンプは強制停止となる。

項 目	条 件	設置水位	摘 要
吸水槽(古川 FP)	高水位	FWL. 232. 42m	
〃	低水位	LWL. 230. 85m	空転防止水位

※設定水位の空欄は、試運転時に実測にて確認し決定する。

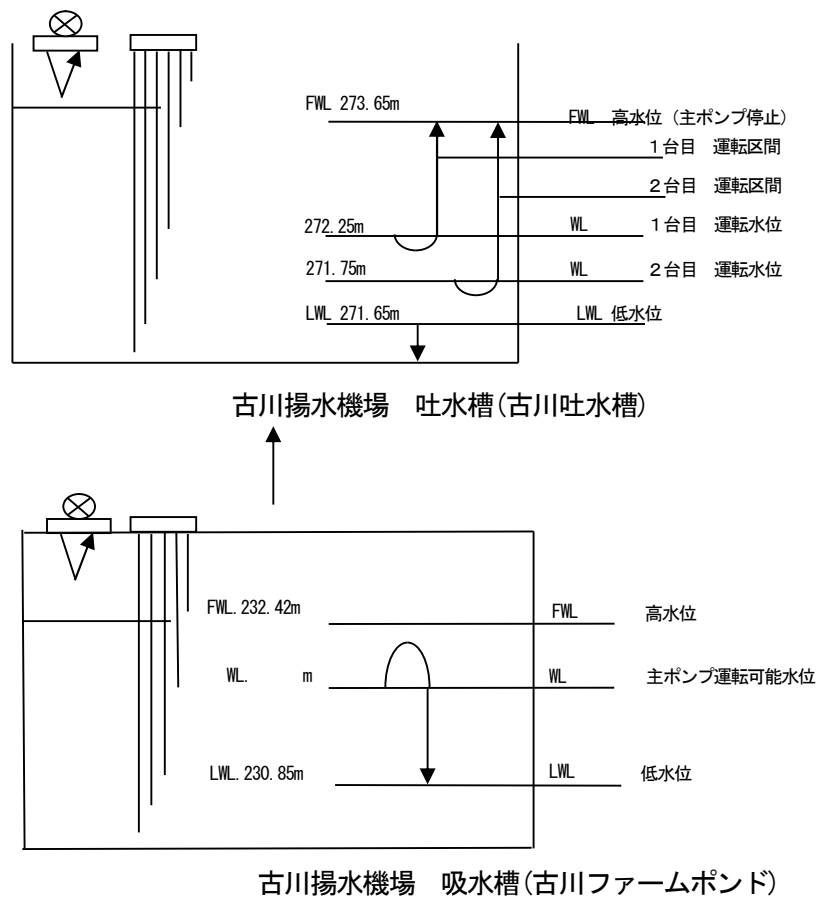
2) 吐水槽の運転水位

古川揚水機場から送水される吐水槽の設定水位は、台数制御により以下の水位設定とする。

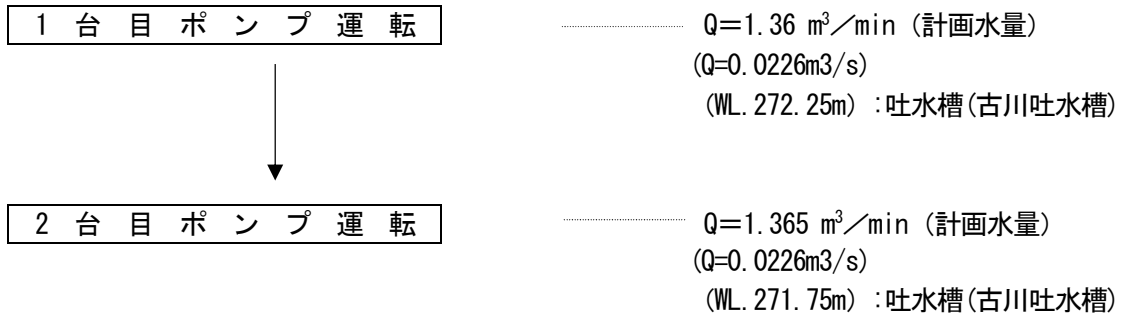
項 目	条 件	設定水位	摘 要
吐水槽(古川吐水槽)	高水位(停止水位)	FWL. 273. 65m	ポンプ停止
〃	1 台目ポンプ運転水位	WL. 272. 25m	
〃	2 台目ポンプ 〃	WL. 271. 75m	
〃	低水位	LWL. 271. 65m	

※設定水位の停止水位、1 台目・2 台目ポンプ運転水位は、試運転にて実測で確認し決定する。

古川揚水機場ポンプ設備は、下記のポンプ台数制御での流量調整である。



A. ポンプ始動操作



B. ポンプ停止操作

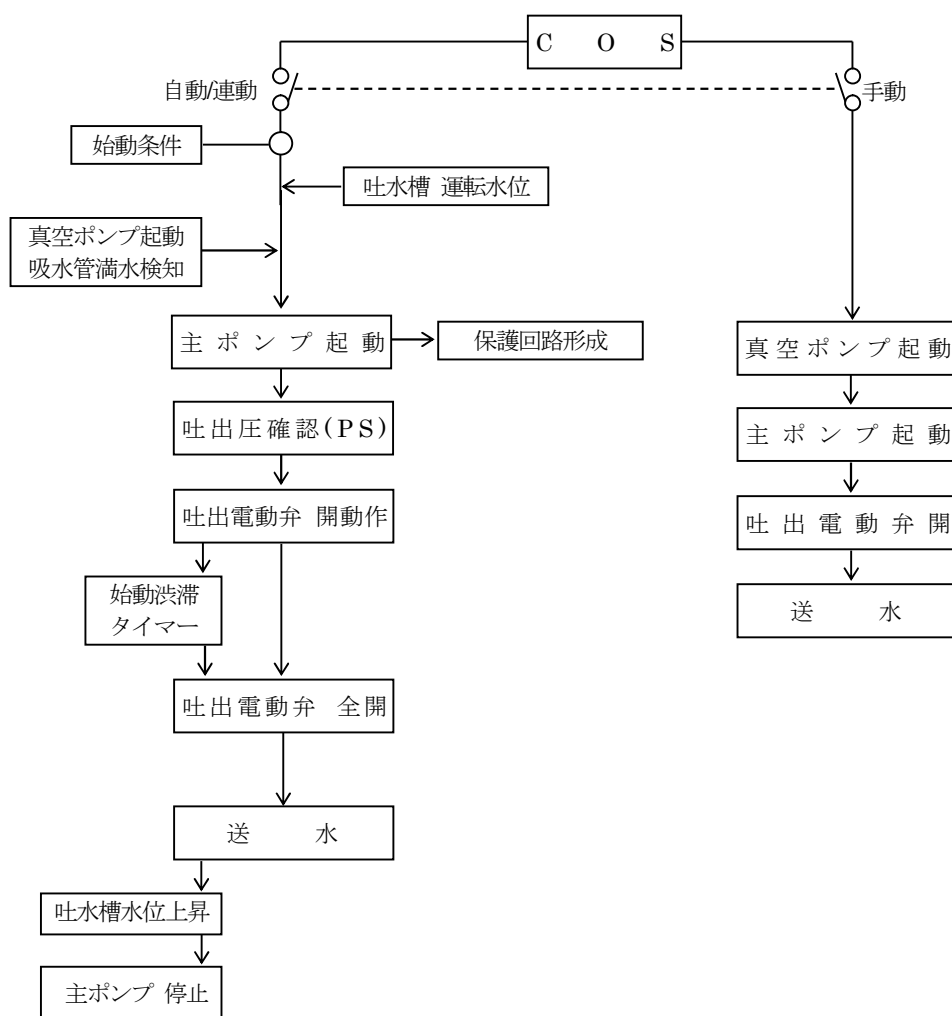


3. 始動条件

- (1) ポンプが始動する場合、下記の条件をすべて満足しなければ始動できない機構を設ける。
- 1) 吸水槽水位が規定値(LWL230.85m)以上。
 - 2) 吐水槽水位が高水位(FWL273.65m)以下。
 - 3) 電源回路正常。
 - 4) 吐出電動弁は全閉(ポンプ～吐出電動弁が充水するまで)。
 - 5) 保護リレー動作中でない。
 - 6) 停止動作中でない。
 - 7) 2台同時にポンプが始動中でない。(土地改良事業計画設計基準 P428 11.1.2 始動条件より)
 - 8) 各切換スイッチが所定位置。
 - 9) 真空ポンプ起動にて吸水管が満水になる事。

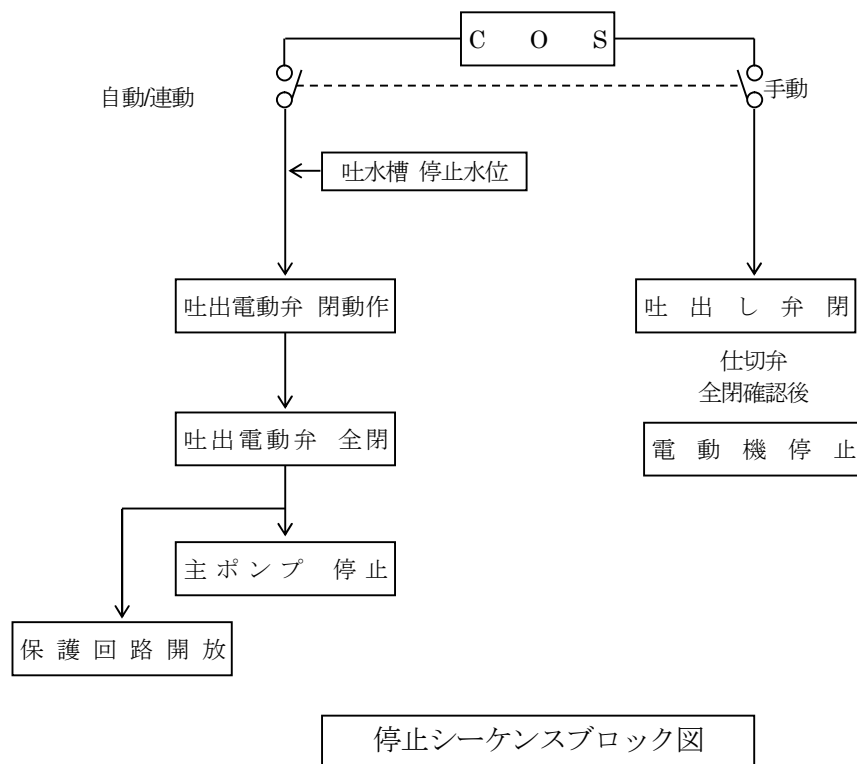
4. 主ポンプの始動・停止順序（ポンプ設備の始動、停止シーケンスブロック図）

（１）始動順序



始動シーケンスブロック図

(2) 停止順序



5. 緊急停止順序

(1) 非常停止

保護継電器の動作及び非常停止開閉器の操作をした場合は、電動機停止及び仕切弁閉動作するものとする。

(2) 停電停止

停電と同時に電動機及び補助機械設備を停止するものとする。

なお、復電後は「自動操作」の保持は行わないこと。

6. 保護警報

保護項目は、ポンプを自動的に停止させると共に、ポンプ盤に異常状態を表示する。

- ・ 電源トリップ
- ・ 非常停止
- ・ No. 1 ポンプ故障
- ・ No. 2 ポンプ故障
- ・ No. 1 吐出弁過負荷
- ・ No. 2 吐出弁過負荷
- ・ No. 1 吐出弁過トルク
- ・ No. 2 吐出弁過トルク
- ・ 真空ポンプ故障
- ・ 吸水槽水位低

7. その他表示

ポンプ盤に以下の項目を表示する。

- ・ 主ポンプ電流値
- ・ 主ポンプ電圧値
- ・ 吐出弁開度
- ・ 主ポンプ運転時間

令和7年度

駅館川農地整備事業

古川揚水機場他ポンプ据付工事

工 事 数 量 表
【当初】

工 事 数 量 表

工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
直接工事費				
1. 既設設備撤去工	古川揚水機場			
(1) 輸送費(撤去)				
輸送費（古川揚水機場～津房農村公園）		式	1	
(2) ポンプ設備撤去工				
ポンプ設備撤去労務費（古川揚水機場）		式	1	
電気設備撤去労務費（古川揚水機場）	ポンプ盤	式	1	
計装設備撤去労務費（古川揚水機場）	電極式水位計	式	1	
2. ポンプ設備据付工	古川揚水機場			
(1) ポンプ設備据付工				
標準用排水機据付工		式	1	
標準用排水機据付工（直接経費）		式	1	
(2) 付帯設備（受配電設備）据付工				
付帯設備（受配電設備）据付費（古川揚水機場）		式	1	
(3) 試運転調整				
試運転調整費（古川揚水機場）		式	1	
3. 土木工事	古川揚水機場			
(1) コンクリート打設工				
コンクリート打設		式	1	

令和7年度

駅館川農地整備事業

古川揚水機場他ポンプ据付工事【平山加圧機場】

工 事 数 量 表
【当初】

工 事 数 量 表

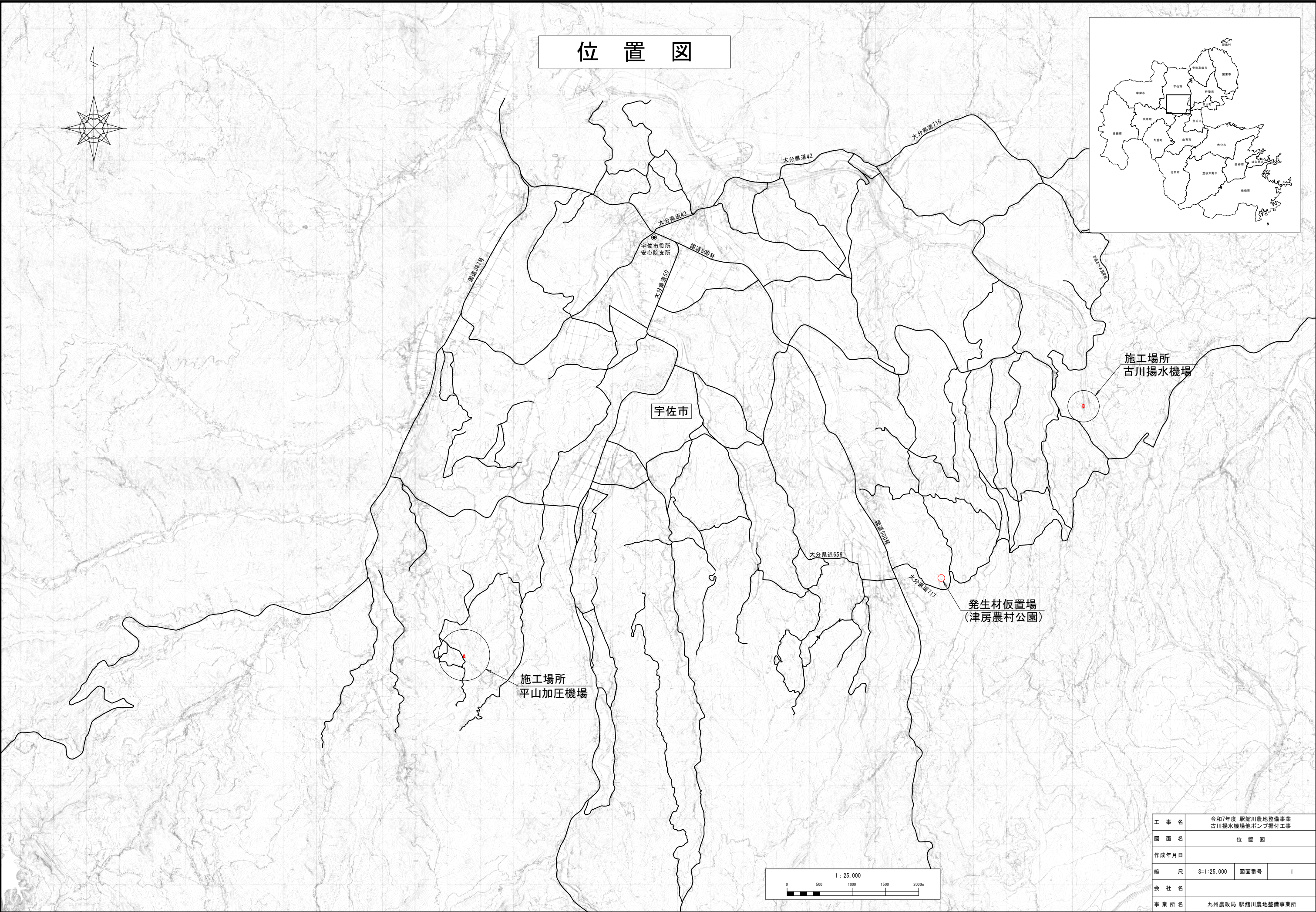
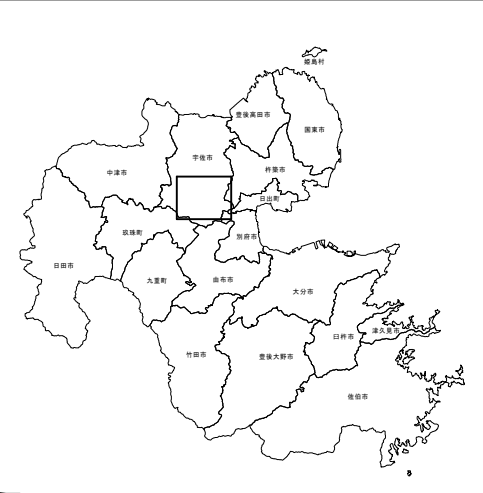
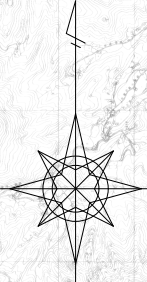
工種・種別・細別	規格	単位	数量	備 考
直接工事費				
1. 既設設備撤去工	平山加圧機場			
(1) 輸送費(撤去)				
輸送費（平山加圧機場～津房農村公園）		式	1	
(2) ポンプ設備撤去工				
ポンプ設備撤去労務費（平山加圧機場）		式	1	
電気設備撤去労務費（平山加圧機場）	ポンプ盤	式	1	
計装設備撤去労務費（平山加圧機場）	電極式水位計	式	1	
2. 仮設工	平山加圧機場			
(1) 仮設工				
仮設用ユニットポンプ		式	1	
輸送費		式	1	

令和7年度 駅館川農地整備事業
古川揚水機場他ポンプ据付工事

図 面 目 録

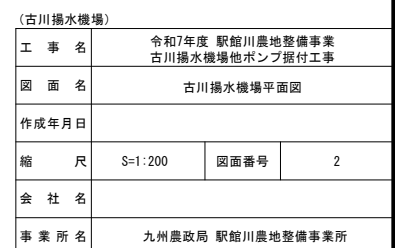
契 約 図			
区分	図面番号	図 面 名 称	図面枚数
共通	1	位 置 図	1 枚
古川揚水機場	2	古 川 揚 水 機 場 平 面 図	1 枚
	3	既 設 ポ ン プ 設 備 撤 去 図	1 枚
	4	ポ ン プ 設 備 図	1 枚
	5	配 管 貫 通 部 処 理 図	1 枚
平山揚加圧機場	6	平 山 加 圧 機 場 平 面 図	1 枚
	7	既 設 ポ ン プ 設 備 撤 去 図	1 枚
合計			7 枚

位置図



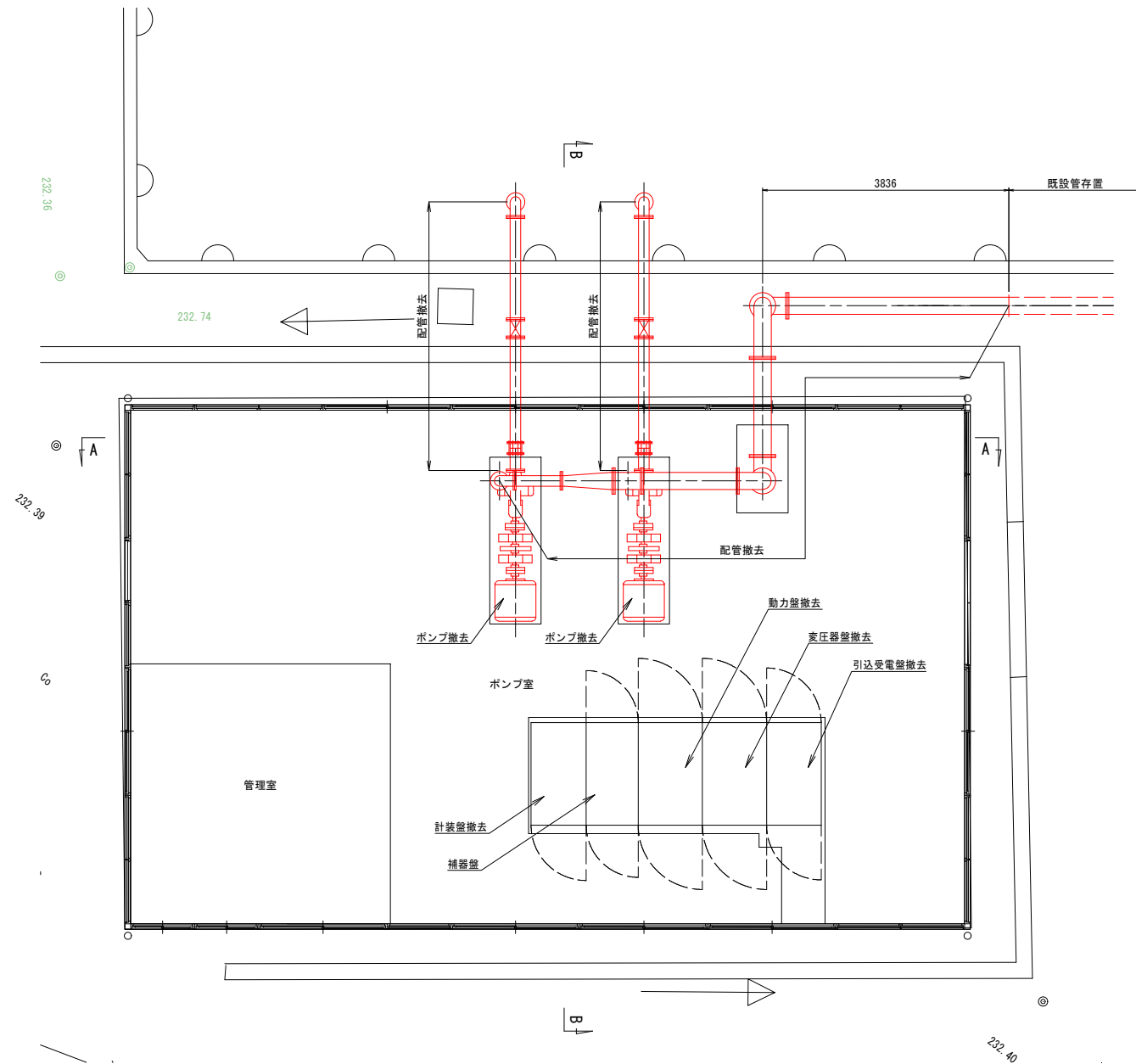
工事名	令和7年度 駅館川農地整備事業 古川揚水機場他ポンプ掘付工事		
図面名	位置図		
作成年月日			
縮尺	S=1:25,000	図面番号	1
会社名			
事業所名	九州農政局 駅館川農地整備事業所		

S=1 : 200

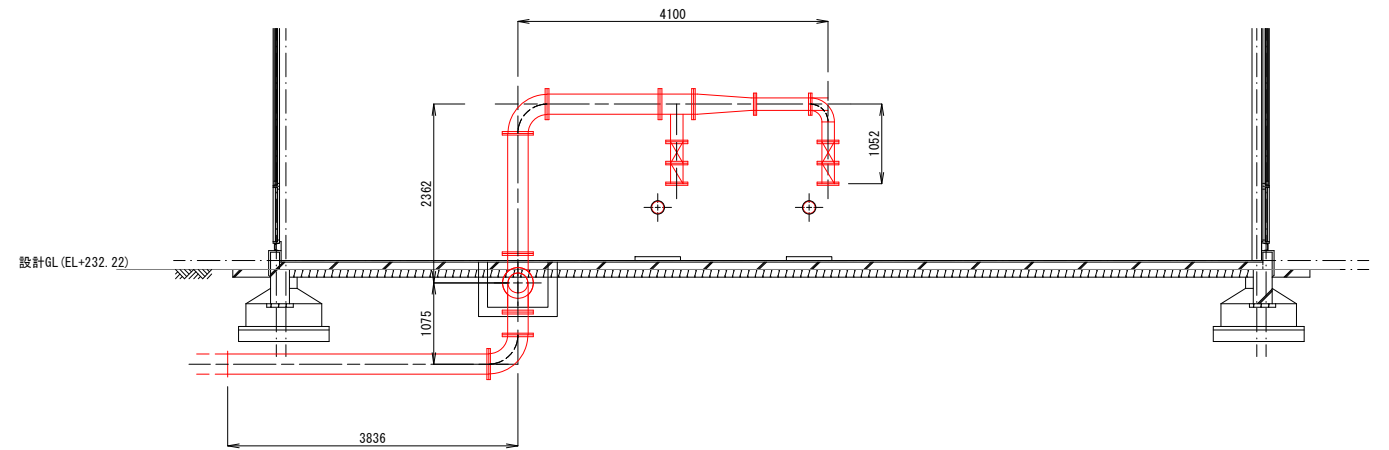


既設ポンプ設備撤去図

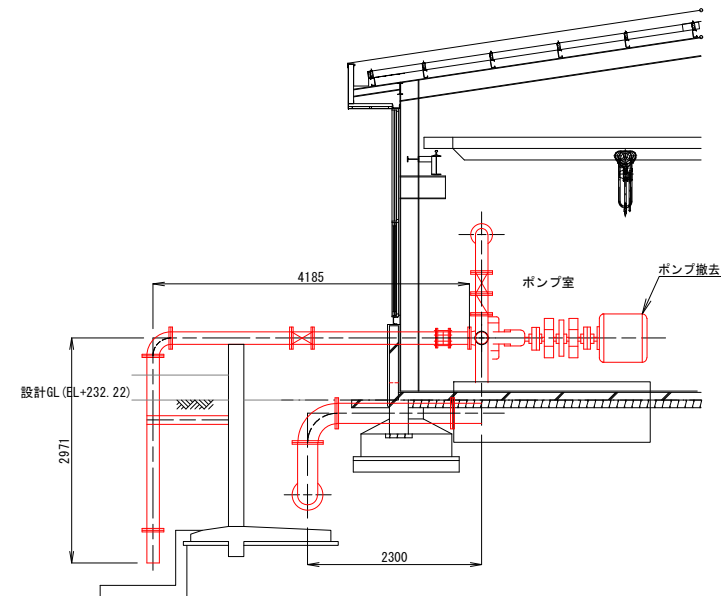
送水ポンプ設備平面図
S=1:50



A-A断面図
S=1:50



B-B断面図
S=1:50

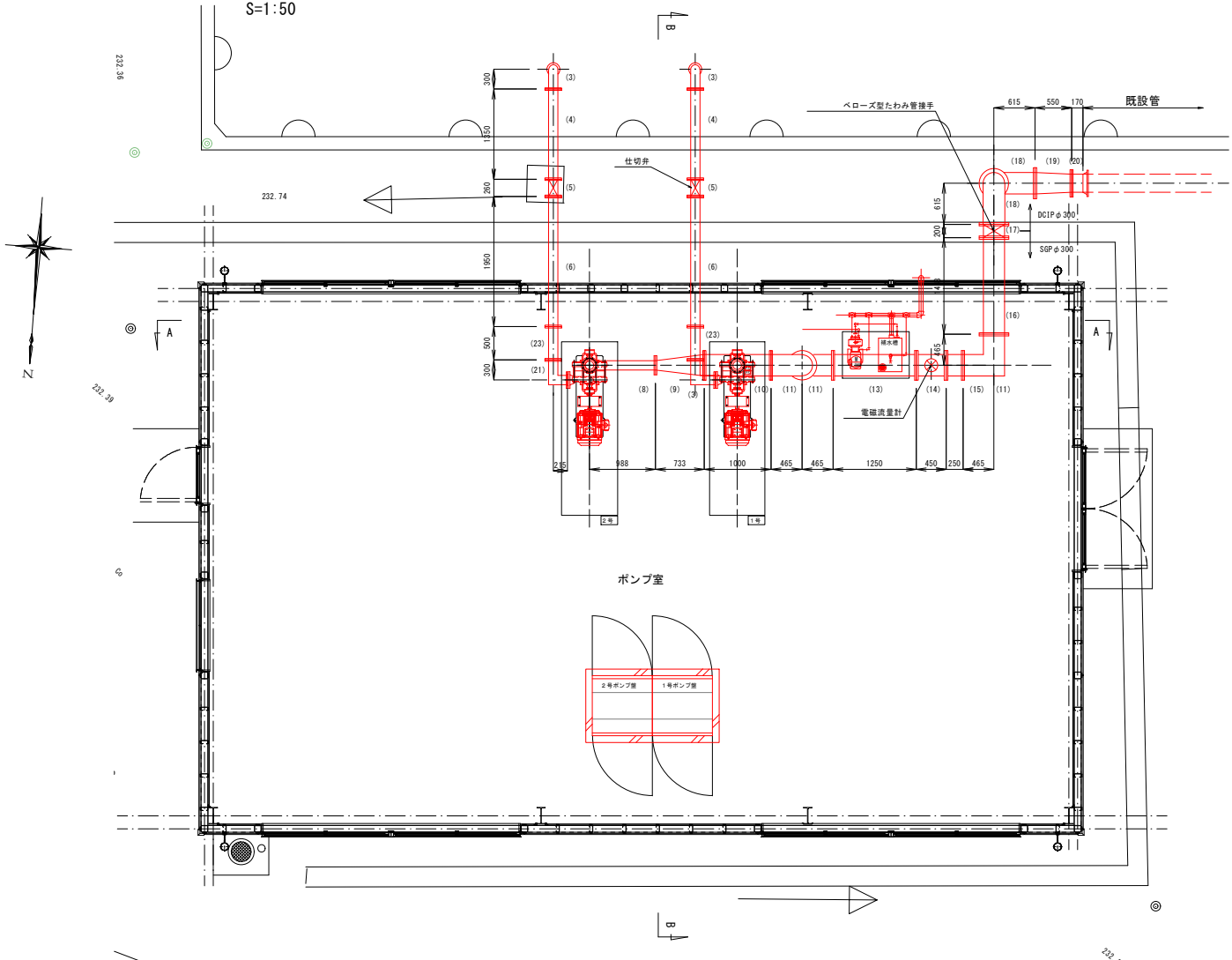


(古川揚水機場)			
工 事 名	令和7年度 駅館川農地整備事業 古川揚水機場他ポンプ据付工事		
図 面 名	既設ポンプ設備撤去図		
作成年月日			
縮 尺	S=1:50	図面番号	3
会 社 名			
事 業 所 名	九州農政局 駅館川農地整備事業所		

ポンプ設備図

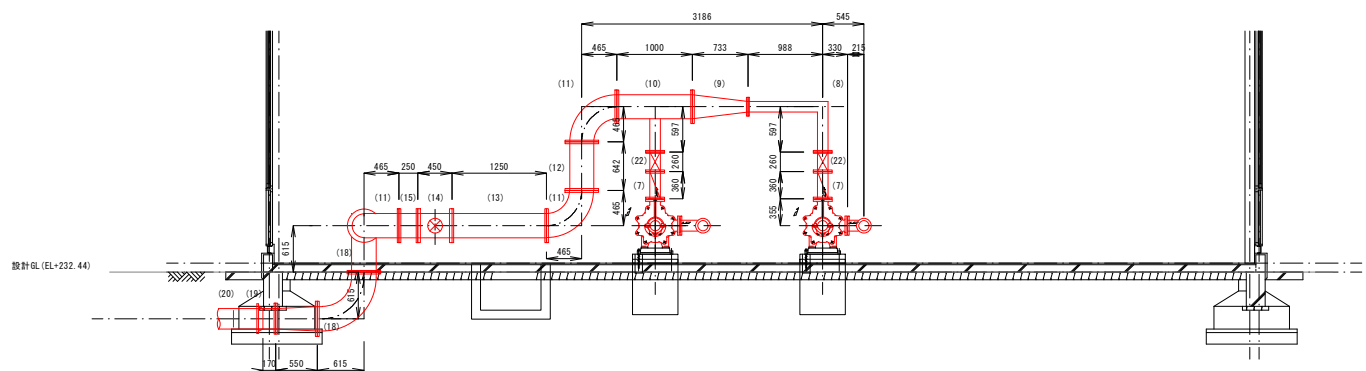
送水ポンプ設備平面図

S=1:50



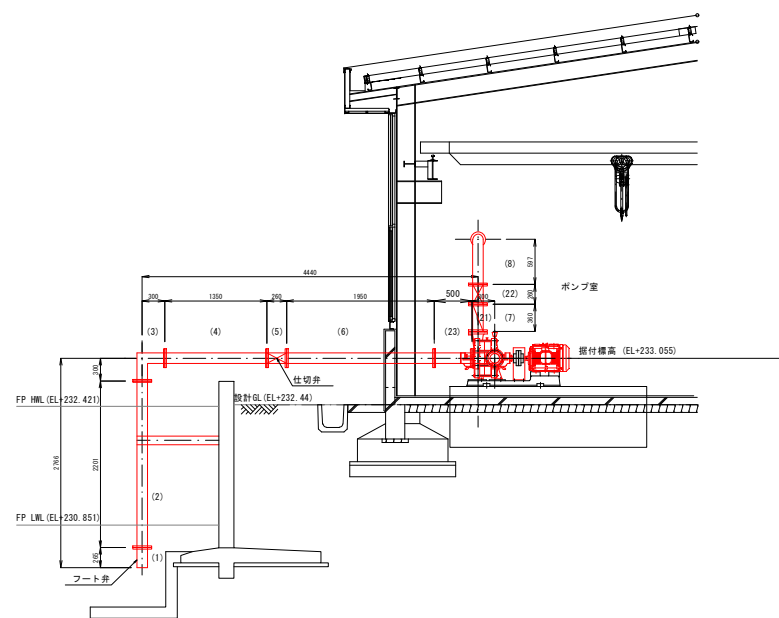
A-A断面図

S=1:50

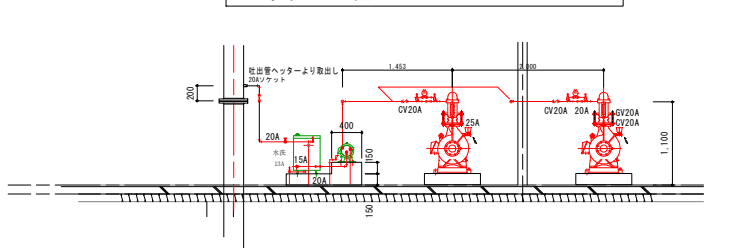


B-B断面図

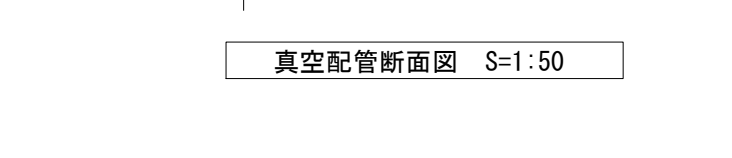
S=1:50



真空配管平面図 S=1:50

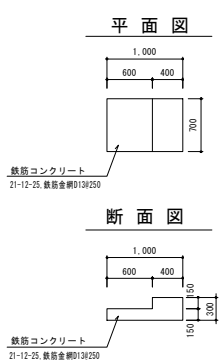


真空配管断面図 S=1:50



真空ポンプ架台構造図

S=1:50



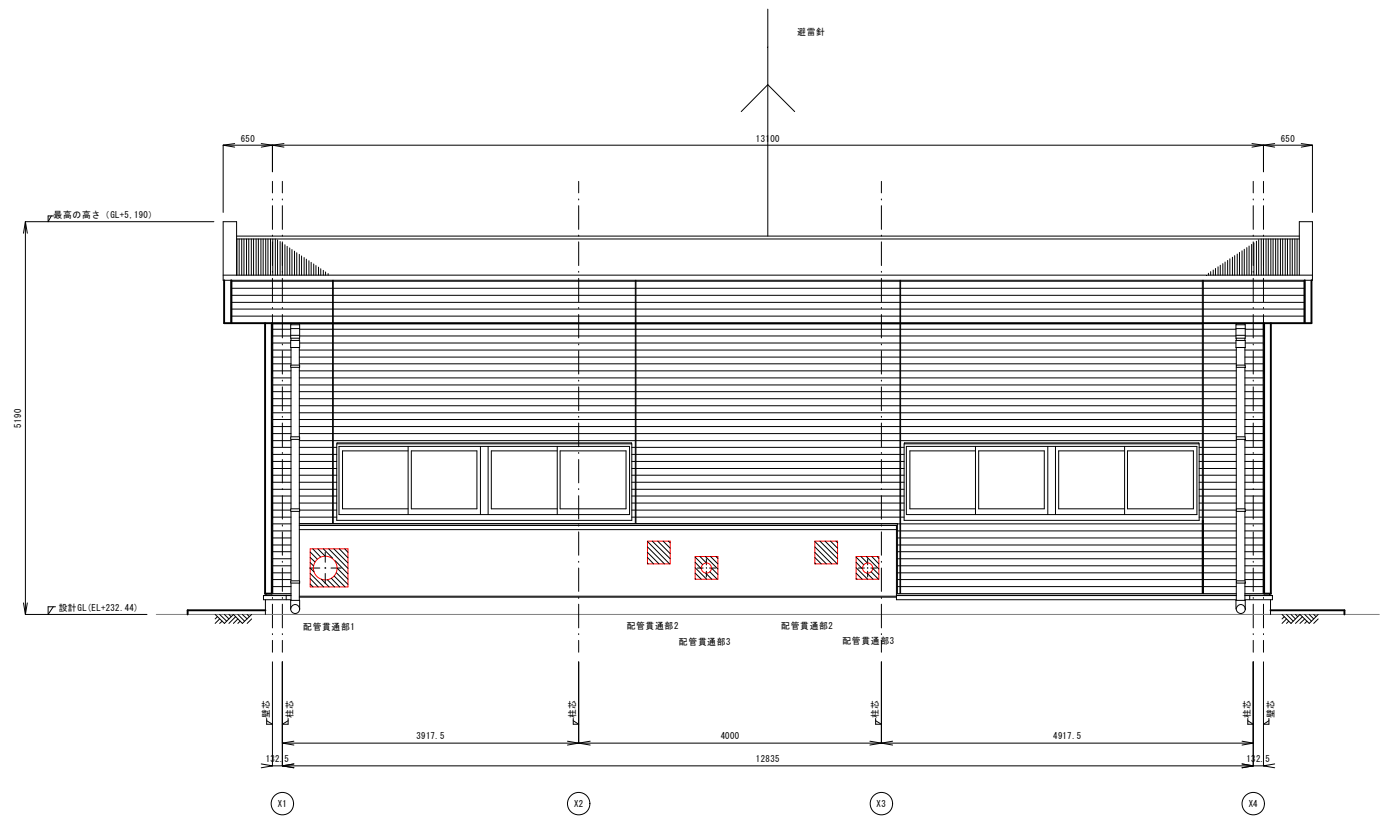
No	材質	品名	口径・寸法	数量
1	SGP	フット弁	φ125 L=265	2
2	SGP	ニフランジ短管	φ125 L=2201	2
3	SGP	ニフランジ曲管	φ125 90°	3
4	SGP	ニフランジ短管	φ125 L=1350	2
5	SGP	手動仕切弁	φ125 L=260	2
6	SGP	ニフランジ短管	φ125 L=1950	2
7	SGP	フランジ形スイング逆止め弁	φ125 L=360	2
8	SGP	ニフランジ曲管	φ125 90°	1
9	SGP	片溶管	φ300×φ125 L=733	1
10	SGP	三フランジT字管	φ300×φ125	1
11	SGP	ニフランジ曲管	φ300 90°	3
12	SGP	ニフランジ短管	φ300 L=642	1
13	SGP	ニフランジ短管	φ300 L=1250	1
14	SGP	電磁流量計	φ300 L=450	1
15	SGP	ニフランジ短管	φ300 L=250	1
16	SGP	ニフランジ短管	φ300 L=1448	1
17	SUS	ベローズ型たわみ管接手	φ300 L=200	1
18	DCIP	ニフランジ曲管	φ300 90°	2
19	DCIP	フランジ片溶管	φ300×φ250 L=550	1
20	DCIP	短管1号	φ250 L=170	1
21	SGP	ニフランジ曲管	φ125 90°	1
22	SGP	電動仕切弁	φ125 L=260	2
23	SGP	フランジアダプター	φ125 L=500	2

※ポンプ設備については製作済である。

工 事 名	令和7年度 駅館川農地整備事業 古川揚水機場他ポンプ掘付工事		
図 面 名	ポンプ設備図		
作成年月日			
縮 尺	S=1:50	図面番号	4
会 社 名			
事業所名	九州農政局 駅館川農地整備事業所		

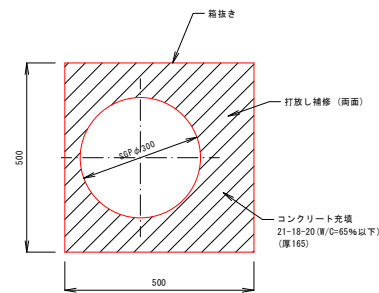
配管貫通部処理図

建屋改修 南立面図
S=1:50

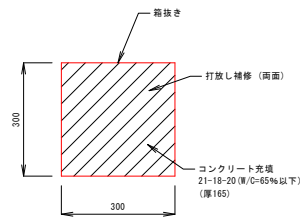


配管貫通部処理図
S=1:10

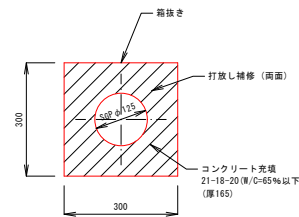
配管貫通部 1



配管貫通部 2
(管撤去2ヶ所)



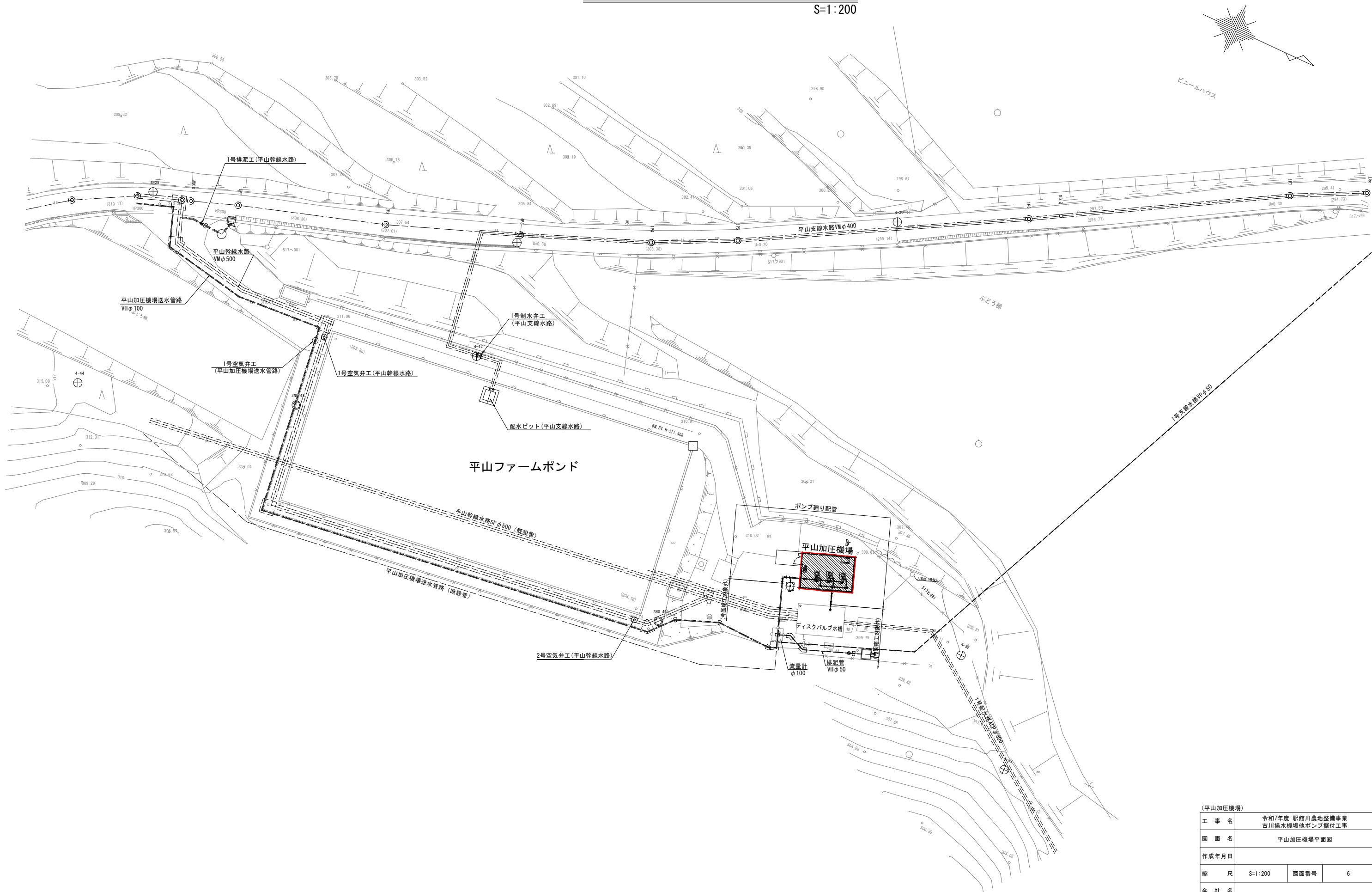
配管貫通部 3
(2ヶ所)



(古川揚水機場)			
工 事 名	令和7年度 駅館川農地整備事業 古川揚水機場地ポンプ掘付工事		
図 面 名	配管貫通部処理図		
作成年月日			
縮 尺	図 示	図面番号	5
会 社 名			
事 業 所 名	九州農政局 駅館川農地整備事業所		

平山加圧機場平面図

S=1:200

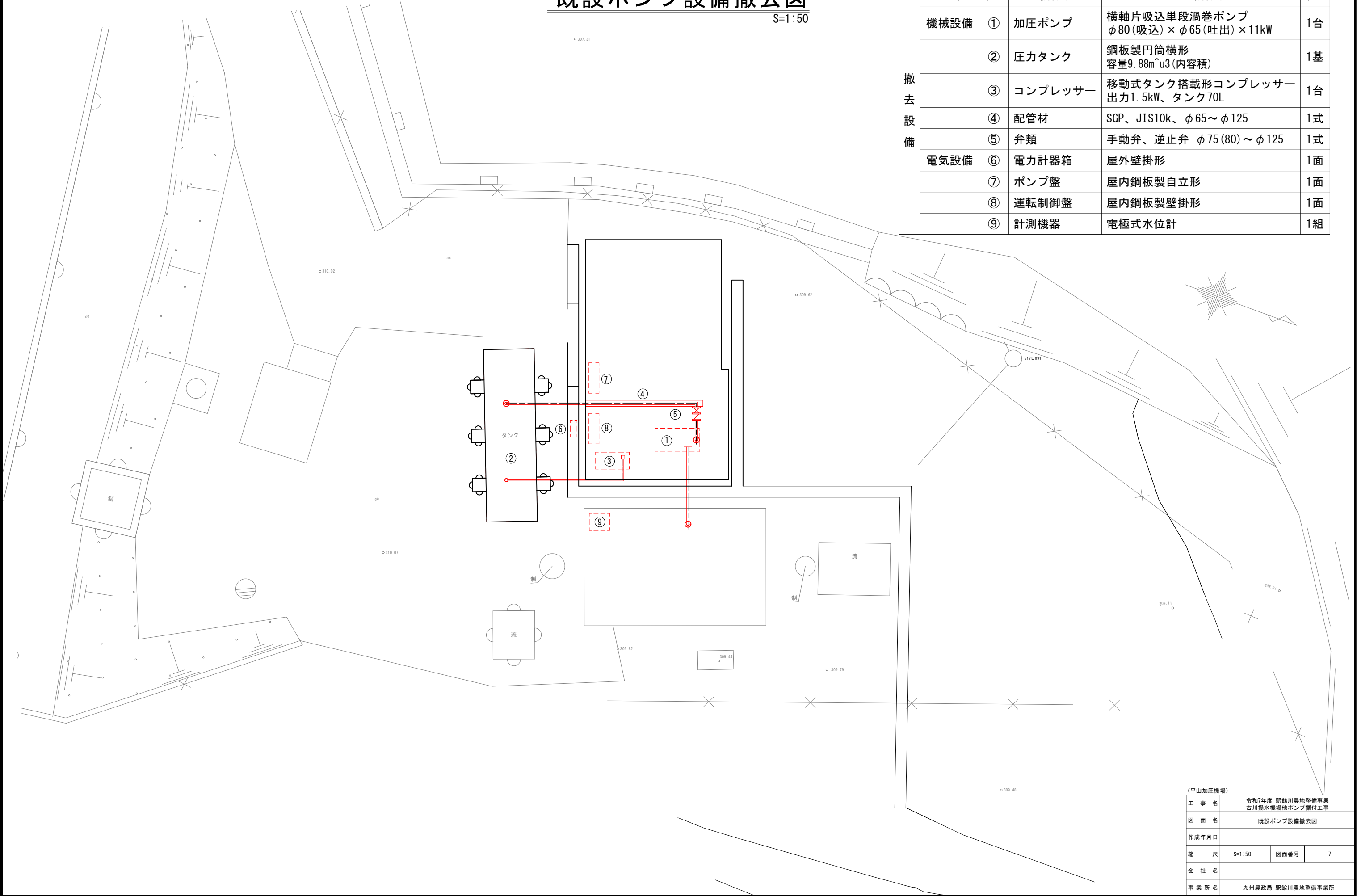


(平山加圧機場)			
工 事 名	令和7年度 駅館川農地整備事業 古川揚水機場他ポンプ掘付工事		
図 面 名	平山加圧機場平面図		
作成年月日			
縮 尺	S=1:200	図面番号	6
会 社 名			
事 業 所 名	九州農政局 駅館川農地整備事業所		

既設ポンプ設備撤去図

S=1:50

撤 去 設 備	工 種	数量	機器名		数量
	機械設備	①	加圧ポンプ	横軸片吸込単段渦巻ポンプ φ80(吸込)×φ65(吐出)×11kW	1台
		②	圧力タンク	鋼板製円筒横形 容量9.88m ³ (内容積)	1基
		③	コンプレッサー	移動式タンク搭載形コンプレッサー 出力1.5kW、タンク70L	1台
		④	配管材	SGP、JIS10k、φ65～φ125	1式
		⑤	弁類	手動弁、逆止弁 φ75(80)～φ125	1式
	電気設備	⑥	電力計器箱	屋外壁掛形	1面
		⑦	ポンプ盤	屋内鋼板製自立形	1面
		⑧	運転制御盤	屋内鋼板製壁掛形	1面
		⑨	計測機器	電極式水位計	1組



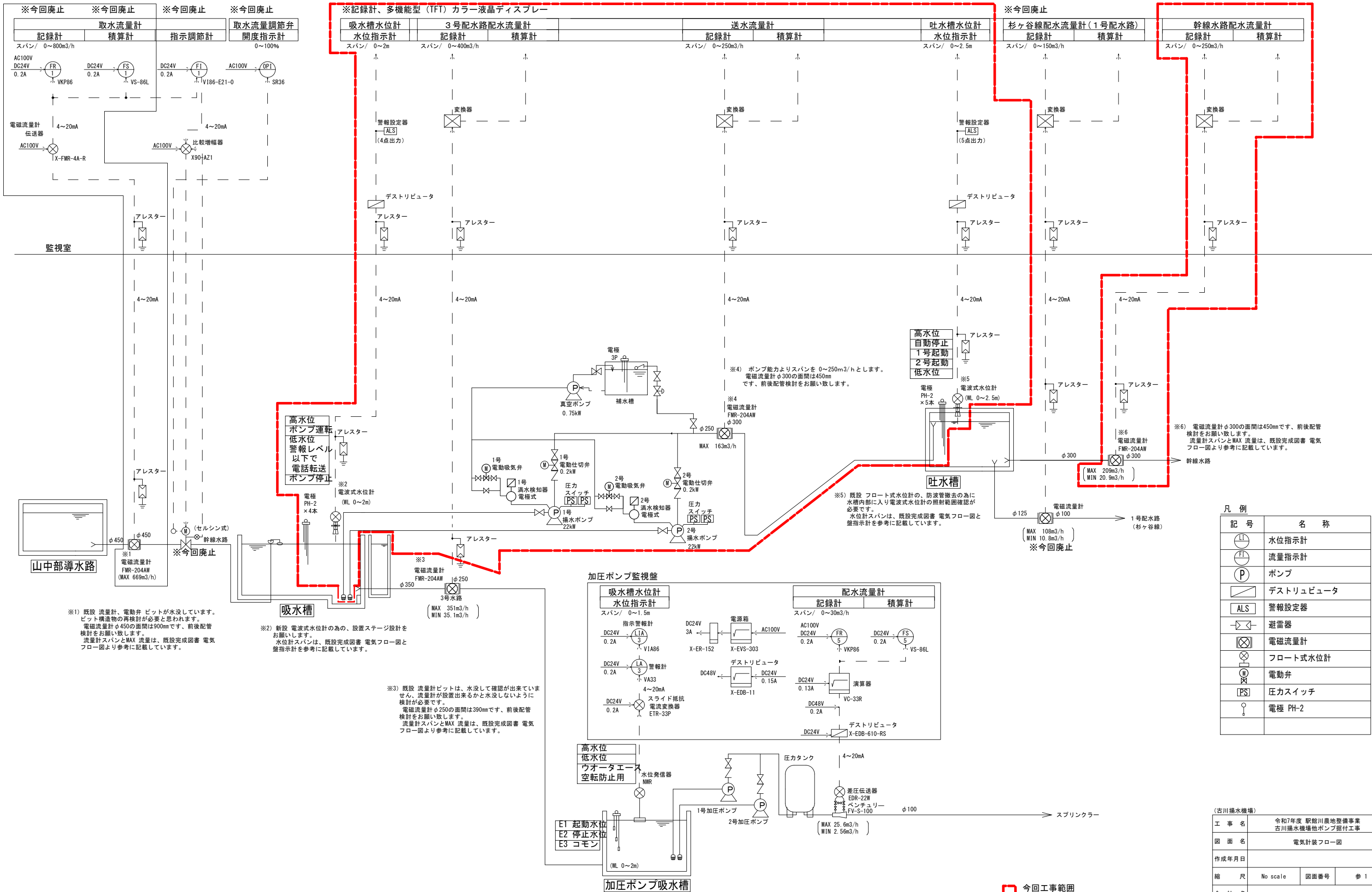
(平山加圧機場)			
工 事 名	令和7年度 駅館川農地整備事業 古川揚水機場他ポンプ据付工事		
図 面 名	既設ポンプ設備撤去図		
作成年月日			
縮 尺	S=1:50	図面番号	7
会 社 名			
事 業 所 名	九州農政局 駅館川農地整備事業所		

令和7年度 駅館川農地整備事業
古川揚水機場他ポンプ据付工事

図 面 目 録

参 考 図			
区分	図面番号	図 面 名 称	図面枚数
古川揚水機場	参 1	電 気 計 装 フ ロ ー 図	1 枚
	参 2	場 外 電 気 配 線 図	1 枚
	参 3	場 内 電 気 配 線 図	1 枚
	参 4	ポ ン プ 室 配 線 図	1 枚
合計			4 枚

電気計装フロー図

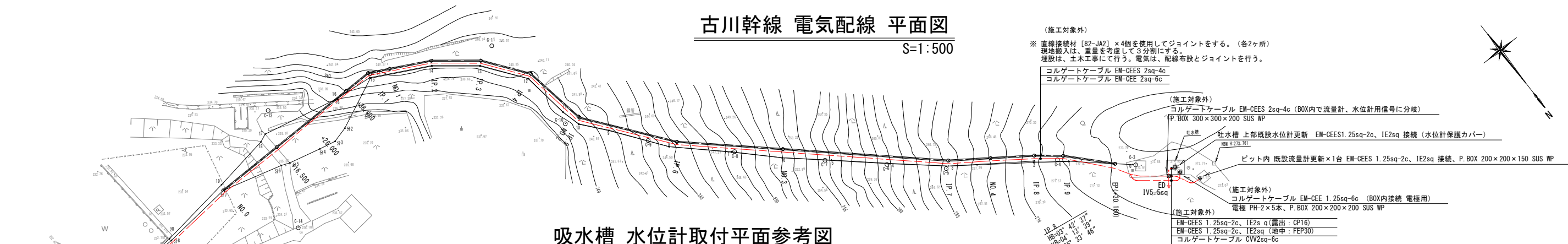


(古川揚水機場)			
工 事 名	令和7年度 駅館川農地整備事業 古川揚水機場地ポンプ掘付工事		
図 面 名	電気計装フロー図		
作成年月日			
縮 尺	No scale	図面番号	参 1
会 社 名			
事業所名	九州農政局 駅館川農地整備事業所		

場外電気配線図

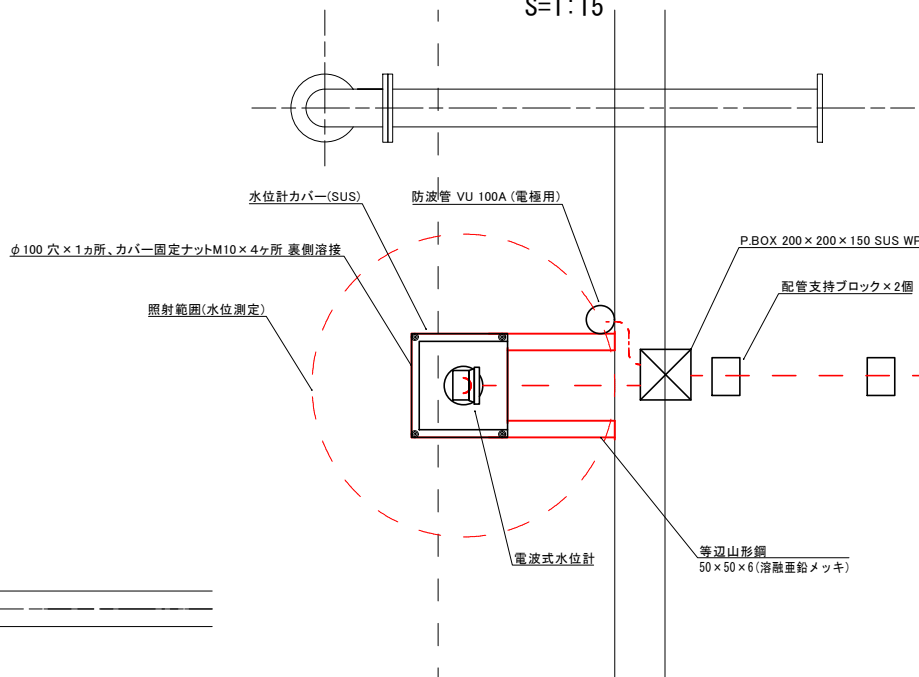
古川幹線 電気配線 平面図

S=1:500



吸水槽 水位計取付平面参考図

S=1:15



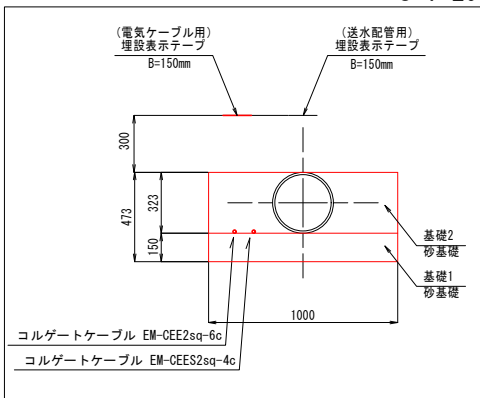
(施工対象外)

配管延長距離

測点	斜距離(m)
No. 0~No. 0+8.000	8.004
No. 0+8.000~No. 0+26.300	18.431
No. 0+26.300~IP. 1	19.026
IP. 1~IP. 4	39.778
IP. 4~IP. 5	15.757
IP. 5~IP. 6	24.576
IP. 6~No. 2+39.000	14.944
No. 2+39.000~No. 3	11.553
No. 3~IP. 7	41.923
IP. 7~IP. 8	21.419
IP. 8~IP. 9	7.105
IP. 9~EP	12.664
合計	235.180

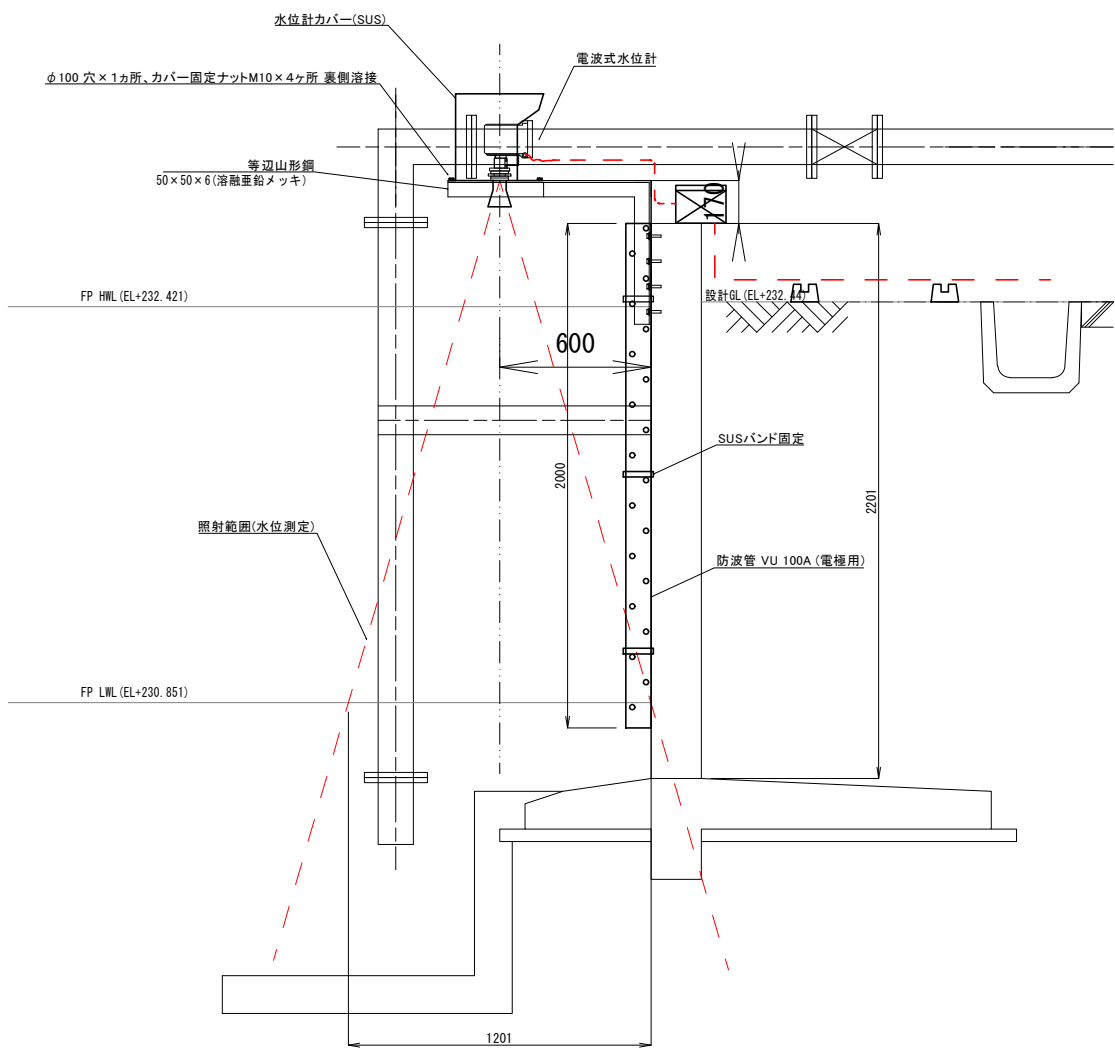
古川幹線 電気配線断面図

S=1:20



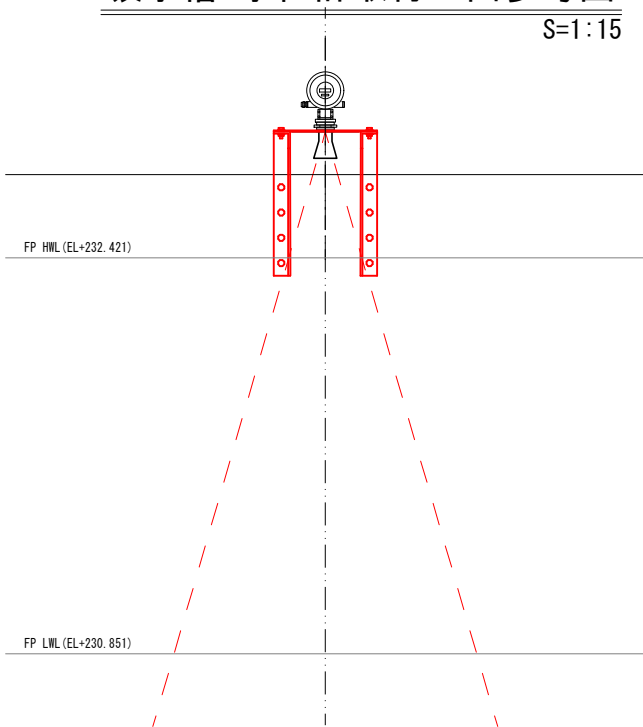
吸水槽 水位計取付断面参考図

S=1:15



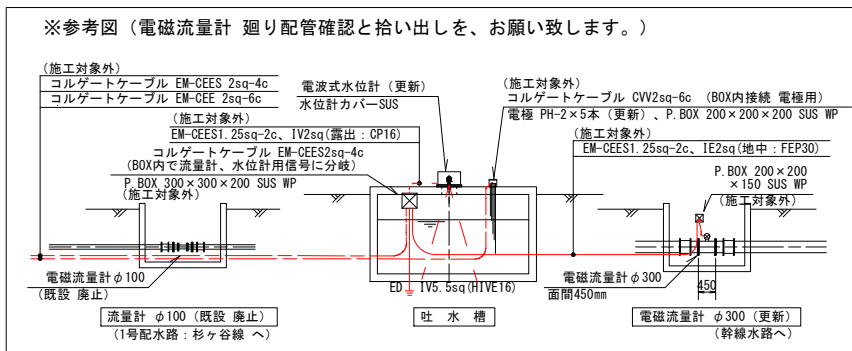
吸水槽 水位計取付正面参考図

S=1:15



吐水槽 電気配線断面参考図

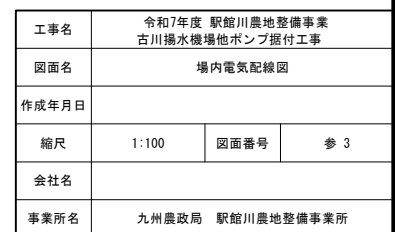
S=1:100



(古川揚水機場)

工事名	令和7年度 駅館川農地整備事業
図面名	古川揚水機場ポンプ掘付工事
作成年月日	場外電気配線図
縮尺	図示
会社名	図面番号
事業所名	参 2
	九州農政局 駅館川農地整備事業所

S=1 : 100



ポンプ室配線図

S=1:20

P. BOX 200×200×150 SUS WP

コアカッティング
(50A)

吸水槽
電極式水位計、電極へ

電動仕切弁

電極式
満水検知器

圧カスイッチ×2

電動吸気弁

電極式
満水検知器

電動仕切弁

電動吸気弁

真空ポンプ

補水槽

電極

圧カスイッチ×2

コアカッティング
(50A)

P. BOX 200×200×150 SUS WP

吸水槽流入
電磁流量計へ

吐水槽へ
水位計、流量計
電極

電磁流量計 φ300
面間 450mm

ポンプ室

2号ポンプ盤

1号ポンプ盤

コアカッティング
(100A)

P. BOX 300×300×300 SUS WP

引込柱へ

3号水路
電磁流量計へ

配線表

自	至	ケーブル	布 設
引込点	引込開閉器盤	EM-CET 100sq	(CP70) (フレキ70)
引込開閉器盤	1号ポンプ盤	EM-CET 100sq, 1E 22sq	(CP70) (FEP80) (ビット) (フレキ70)
1号ポンプ盤	1号送水ポンプ	EM-CET 22sq×2, 1E 22sq	(フレキ54) (ビット)
	1号電動仕切弁	EM-CE 2sq-4c	(CP22) (フレキ22) (ビット)
		EM-CEE 1.25sq-10c	(CP28) (フレキ28) (ビット)
	圧カスイチ (仕切弁)	EM-CEE 1.25sq-2c	(フレキ16) (ビット)
	圧カスイチ (吐出圧)	EM-CEE 1.25sq-2c	(フレキ16) (ビット)
	電動吸気弁	EM-CEE 1.25sq-5c	(フレキ22) (ビット)
	電極式満水検知器	EM-CEE 1.25sq-3c	(CP16) (フレキ16) (ビット)
	真空ポンプ	EM-CE 3.5sq-4c	(フレキ22) (ビット)
	補水槽 電極	EM-CEE 1.25sq-3c	(フレキ16) (ビット)
2号ポンプ盤	2号送水ポンプ	EM-CET 22sq×2, CE 22sq	(フレキ54) (ビット)
	2号電動仕切弁	EM-CE 2sq-4c	(CP22) (フレキ22) (ビット)
		EM-CEE 1.25sq-10c	(CP28) (フレキ28) (ビット)
	圧カスイチ (仕切弁)	EM-CEE 1.25sq-2c	(フレキ16) (ビット)
	圧カスイチ (吐出圧)	EM-CEE 1.25sq-2c	(フレキ16) (ビット)
	電動吸気弁	EM-CEE 1.25sq-5c	(フレキ22) (ビット)
	電極式満水検知器	EM-CEE 1.25sq-3c	(CP16) (フレキ16) (ビット)
	吸水槽 水位計	EM-CEES 1.25sq-2c, 1E2sq	(CP28) (CP16) (フレキ16)
	吸水槽 電極	EM-CEE 1.25sq-5c, 1E2sq	(ビット) (CP22) (フレキ22)
	吐水槽 分岐	コルゲートケーブル	(ビット)
	ブルボックス	EM-CEES 2sq-4c	(地中埋設)
	吐水槽 電極	コルゲートケーブル EM-CEE 2sq-6c	(ビット) (地中埋設)
吐水槽 分岐 ブルボックス	吐水槽 水位計	EM-CEES 1.25sq-2c, 1E2sq	(CP16) (フレキ16)
	電磁流量計	EM-CEES 1.25sq-2c, 1E2sq	(フレキ16) (FEP30)
	吐水槽 電極 ED	1E 5.5sq	(HIVE16)
2号ポンプ盤	電磁流量計 (送水)	EM-CEES 1.25sq-2c, 1E2sq	(CP16) (フレキ16) (ビット)
	電磁流量計 (流入)	EM-CEES 1.25sq-2c, 1E2sq	(FEP30) (フレキ16) (ビット)
	電磁流量計 (3号)	EM-CEES 1.25sq-2c, 1E2sq	(FEP30) (フレキ16) (ビット)
引込点	引込開閉器盤	EM-CE 14sq-3c (電灯)	(CP36) (フレキ36)
引込開閉器盤	1号ポンプ盤	EM-CE 14sq-3c (電灯)	(CP36) (FEP40) (ビット) (フレキ36)

工事名	令和7年度 駅館川農地整備事業 古川排水機場他ポンプ設備工事		
図面名	ポンプ室配線図		
作成年月日			
縮尺	S=1:20	図面番号	参 4
会社名			
事業所名	九州農政局 駅館川農地整備事業所		